

# とましん景況レポート No.154

令和5年1月～3月

- 苫小牧信用金庫の第4四半期の活動、とましん景気動向調査概要
- 第138回地域景気動向調査 ..... 1  
アンケート調査による管内の概況  
－ 業況判断指数は、前期比16.9ポイント後退 ▲30.8 －
- 特別調査「中小企業における  
デジタル化への対応について」 ..... 8
- 管内主要経済統計 ..... 10
- 特集 国内経済・金融情勢 ..... 18
- お取引先企業のご紹介 ..... 20  
苫小牧市 介護ショップそら 様  
平取町 平取和牛専門店くろべこ 様
- 最近の管内のトピックス - 新聞報道より - ..... 21



明るく 元気に このまちを

苫小牧信用金庫

## ●●● 苫小牧信用金庫の第4四半期の活動 ●●●

- 令和5年1月 | 冬休みぬり絵コンクール作品展（まちなか交流館27～29日）
- 令和5年2月 | とましん景況レポート№153発行（16日）
- 令和5年3月 | 札幌交響楽団苫小牧公演2023協賛（21日）

### まちなか交流館

まちなか交流館は「気軽」に「ぶらっと」立ち寄れる場所づくりを目的として、地域住民の交流拠点とするとともに、地域の観光や地場産品のPR拠点として、多くの人が集い、触れ合う「コミュニティステーション」を目指し設置しました。

所在地 苫小牧市表町3丁目1番6号（苫小牧信用金庫本店敷地内）  
 開館日時 毎週 金・土・日 12時～17時まで



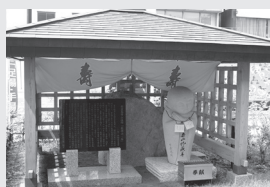
まちなか交流館（外観）



足湯・手湯



郷土特産品展示コーナー



長寿山地蔵尊

アルテン「ゆのみの湯」から、定期的に温泉を運び入れています。

**是非、ご来館ください!**



縁結びの鈴

### 第138回 とましん景気動向調査概要

- 調査期間 令和5年 3月1日～3月7日
- 調査対象期間 令和5年 1月～3月（実績・今期）  
令和5年 4月～6月（予想・次期）
- 調査地域 苫小牧信用金庫の本店及び支店所在地（札幌圏を除く）
- 調査方法 アンケート用紙に基づく面談調査
- 分析方法 指数 D.I. (Diffusion Indexの頭文字) による分析

(件、%)

調査先数	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産業	合計
対象先数	38	25	72	60	20	54	5	11	285
回答数	30	22	59	51	16	45	5	9	237
回答率	78.9	88.0	81.9	85.0	80.0	83.3	100.0	81.8	83.2

# 第138回地域景気動向調査アンケート結果（令和5年1月～3月期）

## 《概況》 — 全業種業況判断指数は、前期比後退 ▲30.8 —

1. 令和5年1～3月期の全業種業況判断D.I.は「▲30.8」、前期（令和4年10～12月）に比べて16.9ポイント後退した。業種別にみると、小売業・不動産業が前期比改善、鉱業は横這い、その他の5業種は後退した。地域別では市部・郡部ともに前期比後退、千歳地区も後退となったが、白老地区は改善した。
2. 収益面では、売上額D.I.が「▲38.0」で前期から27.4ポイント後退。収益D.I.も「▲35.4」で前期から17.8ポイント後退した。また、販売価格D.I.は「19.0」で前期から10.0ポイント低下。仕入価格D.I.は「57.4」で前期から8.7ポイント低下した。人手過不足D.I.は「▲33.3」で前期から11.2ポイント改善した。
3. 令和5年4～6月期（来期）の予想業況判断D.I.は「▲26.2」、今期から4.6ポイント改善見通しとなった。業種別にみると、卸売業・建設業・運輸業・サービス業で改善見通し、製造業・鉱業は横這い、小売業・不動産業は後退の見通しとなった。地域別では、市部・郡部ともに改善見通しとなったが、千歳地区・白老地区は後退の見通しとなった。

## 業種別業況判断指数（D.I.）の推移

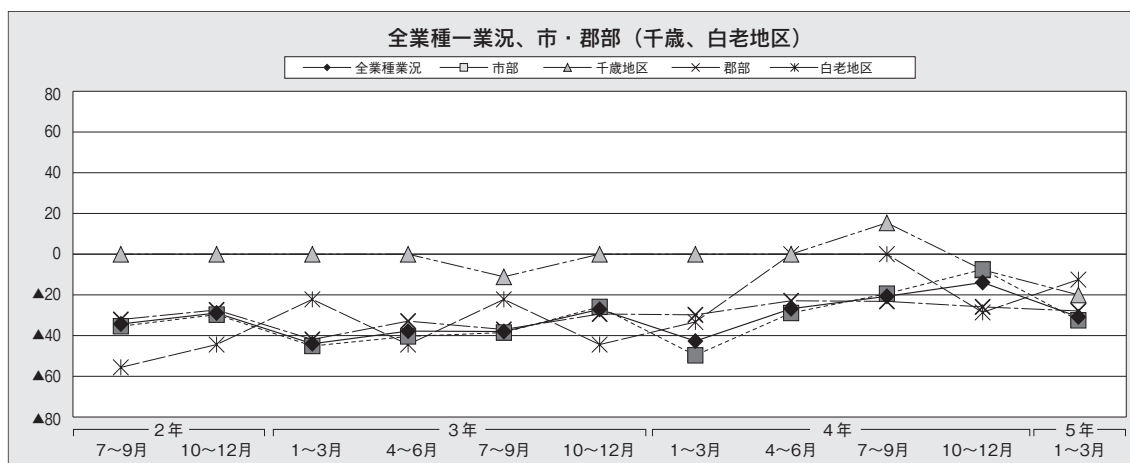
《構成比（%）の差（「良い」-「悪い」）による指数》

項目	令和3年				令和4年				令和5年	
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月 予 想
全業種	▲44.0	▲37.8	▲38.0	▲27.1	▲42.7	▲26.8	▲20.7	▲13.9	▲30.8	▲26.2
市部	▲45.1	▲40.4	▲38.5	▲25.9	▲49.7	▲28.9	▲19.4	▲7.5	▲32.5	▲26.5
千歳地区	0.0	0.0	▲11.1	0.0	0.0	0.0	15.4	▲7.7	▲20.0	▲30.0
郡部	▲41.9	▲32.9	▲37.0	▲29.4	▲29.8	▲22.9	▲23.2	▲25.9	▲27.9	▲25.6
白老地区	▲22.2	▲44.4	▲22.2	▲44.4	▲33.3	0.0	0.0	▲28.6	▲12.5	▲50.0
製造業	▲73.5	▲50.0	▲50.0	▲26.5	▲32.3	▲19.4	▲15.6	▲10.0	▲23.3	▲23.3
卸売業	▲50.0	▲22.7	▲38.1	▲47.6	▲73.9	▲43.5	▲27.3	▲8.7	▲40.9	▲22.7
小売業	▲39.3	▲42.9	▲51.9	▲37.5	▲49.2	▲43.6	▲35.2	▲28.3	▲23.7	▲40.7
建設業	▲17.3	▲26.0	▲14.9	▲1.9	▲23.1	▲19.6	▲5.8	1.9	▲37.3	▲17.6
運輸業	▲66.7	▲42.1	▲33.3	▲17.6	▲77.8	▲29.4	▲50.0	▲5.6	▲37.5	▲12.5
サービス業	▲57.8	▲46.7	▲37.0	▲31.9	▲45.5	▲23.8	▲15.6	▲26.7	▲46.7	▲33.3
鉱業	0.0	▲40.0	▲100.0	▲40.0	▲20.0	0.0	60.0	20.0	20.0	20.0
不動産業	▲18.2	0.0	▲25.0	▲40.0	0.0	18.2	▲33.3	▲9.1	22.2	▲11.1

\*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

## 全業種

— 業況判断指数、前期比16.9ポイント後退 — 回答事業所237件（回答率83.2%）



## 【全業種の業況判断】

全業種の今期業況判断（P 5 上段の表参照）は、「良い」とする企業12.2%に対して、「悪い」とする企業43.0%でD.I.は「▲30.8」、前期「▲13.9」（令和4年10～12月期）と比較して16.9ポイント後退した。

なお、今期の業況判断D.I.は、前回調査時における今期予想「▲36.7」（22.8ポイントの後退予想）を5.9ポイント上回った。

また、来期（令和5年4～6月）の予想業況判断は、「良い」とする企業14.3%、「悪い」とする企業40.5%でD.I.は「▲26.2」、今期に比べ4.6ポイント改善の見通しとなった。

全業種の業況判断	今期D.I.	前期比	前年同期比	来期予想業況判断D.I.
全業種（237社）	▲ 30.8	16.9ポイント後退 ↓	11.9ポイント改善 ↑	▲ 26.2 4.6ポイント改善 ↑

## ■業種別

業種別では、小売業・不動産業が前期比改善、鉱業は横這い、製造業・卸売業・建設業・運輸業・サービス業は前期比後退となった。

また、来期の予想業況判断D.I.は、卸売業・建設業・運輸業・サービス業で改善見通し、製造業・鉱業は横這い、小売業・不動産業は後退見通しとなった。

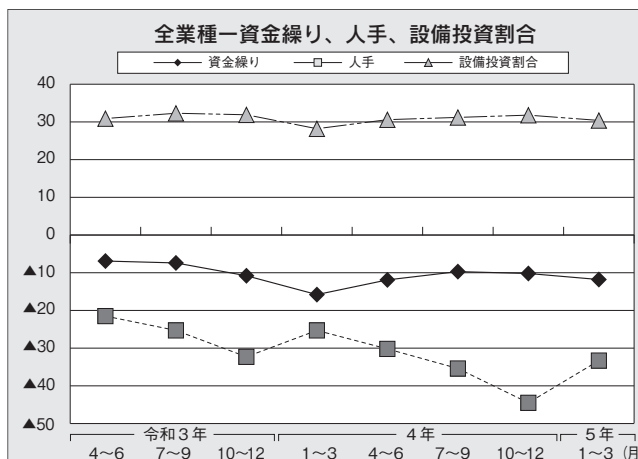
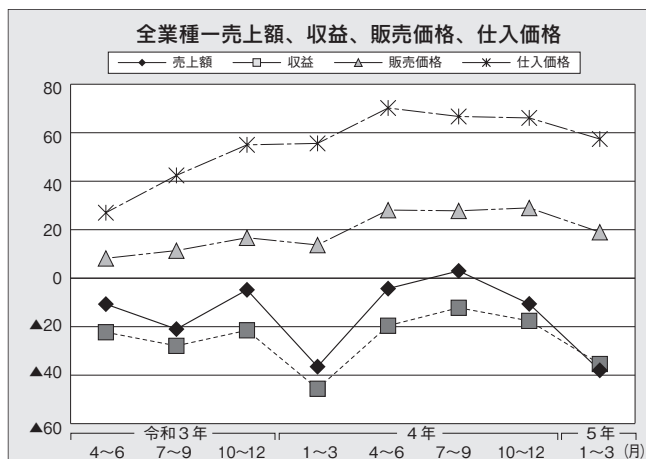
業種別の業況判断	今期D.I.	前期比	前年同期比	来期予想業況判断D.I.
製造業（30社）	▲ 23.3	13.3ポイント後退 ↓	9.0ポイント改善 ↑	▲ 23.3 0.0ポイント横這い -
卸売業（22社）	▲ 40.9	32.2ポイント後退 ↓	33.0ポイント改善 ↑	▲ 22.7 18.2ポイント改善 ↑
小売業（59社）	▲ 23.7	4.6ポイント改善 ↑	25.5ポイント改善 ↑	▲ 40.7 17.0ポイント後退 ↓
建設業（51社）	▲ 37.3	39.2ポイント後退 ↓	14.2ポイント後退 ↓	▲ 17.6 19.7ポイント改善 ↑
運輸業（16社）	▲ 37.5	31.9ポイント後退 ↓	40.3ポイント改善 ↑	▲ 12.5 25.0ポイント改善 ↑
サービス業（45社）	▲ 46.7	20.0ポイント後退 ↓	1.2ポイント後退 ↓	▲ 33.3 13.4ポイント改善 ↑
鉱業（5社）	20.0	0.0ポイント横這い -	40.0ポイント改善 ↑	20.0 0.0ポイント横這い -
不動産業（9社）	22.2	31.3ポイント改善 ↑	22.2ポイント改善 ↑	▲ 11.1 33.3ポイント後退 ↓

## ■地区別

地区別では、市部・郡部ともに前期比後退、千歳地区も後退となったが白老地区は改善した。

来期の予想業況判断D.I.は、市部・郡部ともに改善見通しとなったが、千歳地区・白老地区は後退の見通しとなった。

地区別の業況判断	今期D.I.	前期比	前年同期比	来期予想業況判断D.I.
市部（151社）	▲ 32.5	25.0ポイント後退 ↓	17.2ポイント改善 ↑	▲ 26.5 6.0ポイント改善 ↑
千歳地区（10社）	▲ 20.0	12.3ポイント後退 ↓	20.2ポイント後退 ↓	▲ 30.0 10.0ポイント後退 ↓
郡部（86社）	▲ 27.9	2.0ポイント後退 ↓	1.9ポイント改善 ↑	▲ 25.6 2.3ポイント改善 ↑
白老地区（8社）	▲ 12.5	16.1ポイント改善 ↑	20.8ポイント改善 ↑	▲ 50.0 37.5ポイント後退 ↓



## 【売上等の状況】

- ・「売上額指数」は全業種「▲38.0」前期比27.4ポイント後退。千歳地区は「0.0」前期比23.1ポイント改善。白老地区は「▲50.0」前期比78.6ポイント大きく後退した。業種別では不動産業で横這いとなったが、その他の業種はすべて後退した。先行きは全業種「▲4.6」今期から33.4ポイント改善の見通しとなった。
- ・「対前年売上」は全業種「▲14.8」前期比12.8ポイント後退。業種別では不動産業で前期比改善、製造業は横這い、卸売業・小売業・建設業・運輸業・サービス業・鉱業は後退した。
- ・「収益」は全業種「▲35.4」前期比17.8ポイント後退。千歳地区は「▲10.0」前期比13.1ポイント改善。白老地区は「0.0」前期比横這い。業種別では不動産業で前期比改善となったが、その他の業種はすべて後退した。先行きは全業種「▲19.0」今期から16.4ポイント改善の見通しとなった。
- ・「対前年収益」は全業種「▲26.6」前期比6.6ポイント後退。業種別ではすべての業種で前期比後退となった。
- ・「販売価格」は全業種「19.0」前期比10.0ポイント低下。業種別では不動産業で前期比上昇、鉱業は横這い、その他の業種は前期比低下となった。
- ・「仕入価格」は全業種「57.4」前期比8.7ポイント低下。業種別では製造業で横這いとなったが、その他の業種は前期比低下となった。
- ・「在庫数量」は全業種「2.3」前期比4.5ポイント改善。業種別では製造業・卸売業・小売業・建設業・鉱業で前期比増加、不動産業は前期比後退となった。
- ・「資金繰り」は全業種「▲11.8」前期比1.6ポイント後退。業種別では製造業・サービス業・鉱業で前期比横這い、その他の業種は前期比後退となった。
- ・「残業時間」は全業種「▲14.3」前期比11.0ポイント後退。業種別では不動産業で前期比増加となったが、その他の業種はすべて前期比減少した。
- ・「人手」は全業種「▲33.3」前期比11.2ポイント改善。業種別では製造業・卸売業・小売業・建設業・運輸業・不動産業で前期比改善、鉱業で横這いとなったが、サービス業は後退した
- ・「設備の状況」は全業種「▲15.8」前期比2.6ポイント後退。業種別では製造業・卸売業・建設業・サービス業で前期比改善、小売業・運輸業・鉱業は後退した。
- ・「設備投資実施割合」は前期比1.4ポイント低下し「30.4%」となった。

## 全業種アンケート調査指数(D.I.)の推移

	令和3年				令和4年				令和5年	
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月予想	1月～3月予想
売上額	▲42.3	▲10.7	▲21.0	▲4.8	▲36.5	▲4.3	3.0	▲10.6	▲38.0	▲4.6
収益	▲38.3	▲22.3	▲27.9	▲21.5	▲45.6	▲19.6	▲12.2	▲17.6	▲35.4	▲19.0
販売価格	0.0	8.2	11.4	16.7	13.7	28.1	27.8	29.0	19.0	30.8
仕入価格	20.2	27.0	42.4	55.0	55.6	70.2	66.7	66.1	57.4	59.9
在庫数量	▲5.4	▲2.4	▲5.5	▲4.8	▲3.4	▲7.4	0.6	▲2.2	2.3	▲5.1
資金繰り	▲8.9	▲6.9	▲7.4	▲10.8	▲15.8	▲11.9	▲9.7	▲10.2	▲11.8	▲16.0
対前年売上	▲44.8	▲23.2	▲24.5	▲11.6	▲26.6	▲8.9	▲6.3	▲2.0	▲14.8	
対前年収益	▲43.1	▲28.8	▲33.2	▲27.9	▲36.9	▲31.1	▲17.3	▲20.0	▲26.6	
残業時間	▲19.8	▲19.7	▲13.5	▲1.6	▲12.4	▲12.3	▲0.8	▲3.3	▲14.3	▲6.3
人手	▲20.2	▲21.5	▲25.3	▲32.3	▲25.3	▲30.2	▲35.4	▲44.5	▲33.3	▲38.4
設備状況	▲11.4	▲11.5	▲9.5	▲4.1	▲6.0	▲9.8	▲9.6	▲13.2	▲15.8	▲14.9
設備投資割合	29.0	30.9	32.3	31.9	28.2	30.6	31.2	31.8	30.4	24.6

\* 「在庫数量」は運輸業、サービス業を除く6業種 \* 「設備投資割合」は、不動産業を除く7業種の設備投資を実施した先の割合。

# 「経営上の問題点」・「経営上の重点施策」上位10項目

(令和5年1月～3月期調査)

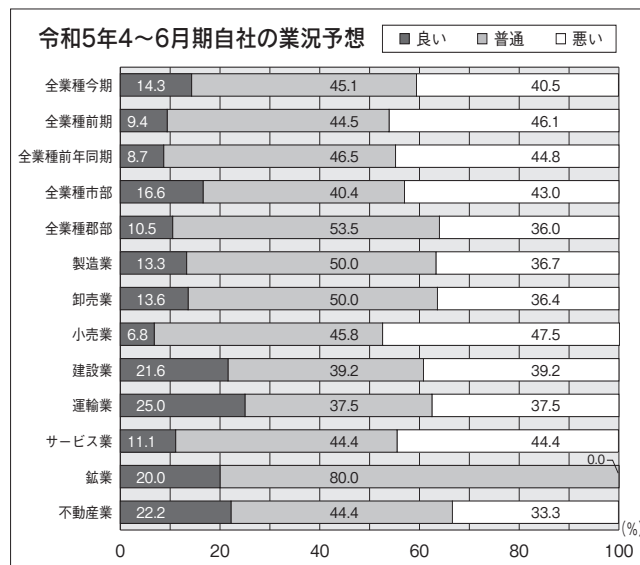
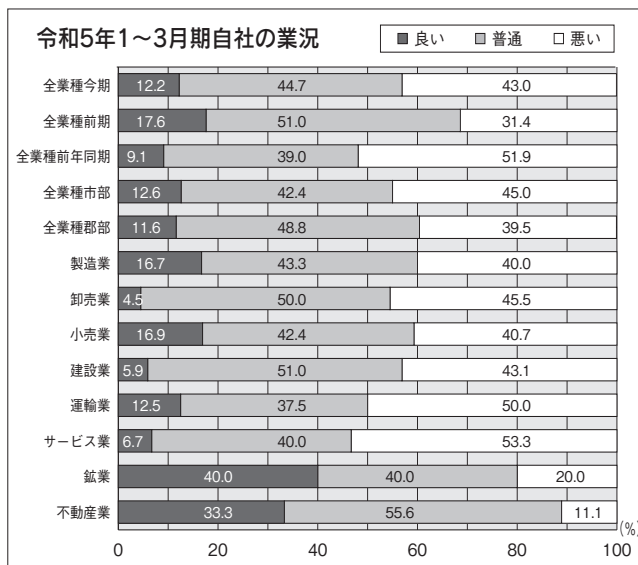
全業種・経営上の問題点	割合 (%)			全業種・経営上の重点施策	割合 (%)		
	市部	郡部	合計		市部	郡部	合計
材料価格の上昇 (原材料高)	60.4	76.5	66.0	経費を節減する	52.3	53.5	52.7
売上の停滞・減少	47.7	34.9	43.0	人材を確保する	41.7	36.0	39.7
人手不足	37.7	37.2	37.6	販路を広げる	31.8	14.0	25.3
仕入先からの値上げ要請	23.2	25.5	24.1	情報力を強化する	15.2	9.3	13.1
利幅の縮小	23.8	14.0	20.3	教育訓練を強化する	12.6	5.8	10.1
人件費の増加	15.9	16.3	16.0	技術力を高める (強化する)	10.6	9.3	10.1
商圏人口の減少	4.4	28.8	15.0	特になし	9.3	11.6	10.1
販売商品の不足	14.9	11.8	13.6	労働条件を改善 (良く) する	5.3	9.3	6.8
同業者間の競争の激化	17.9	5.8	13.5	品揃えを充実 (改善) する	4.6	10.5	6.8
人件費以外の経費の増加	10.6	15.1	12.2	広告・宣伝を強化する	6.0	7.0	6.3

## 景気動向調査主要指数(D.I.)の推移

	製 造 業					運 輸 業				
	4年4~6月	4年7~9月	4年10~12月	5年1~3月	5年4~6月予想	4年4~6月	4年7~9月	4年10~12月	5年1~3月	5年4~6月予想
売 上 額	16.1	▲ 3.1	▲ 16.7	▲ 53.3	3.3	41.2	27.8	▲ 22.2	▲ 50.0	18.8
収 益	6.5	▲ 9.4	▲ 13.3	▲ 40.0	▲ 10.0	11.8	▲ 5.6	▲ 27.8	▲ 50.0	0.0
販 売 価 格	48.4	40.6	53.3	33.3	46.7	5.9	11.1	16.7	6.3	25.0
仕 入 価 格	87.1	81.3	80.0	80.0	70.0	64.7	61.1	66.7	43.8	43.8
在 庫 数 量	▲ 3.2	▲ 6.3	3.3	6.7	▲ 3.3					
資 金 繰 り	▲ 29.0	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 11.8	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 12.5	▲ 12.5
前年比売上	6.5	3.1	6.7	6.7		35.3	16.7	5.6	▲ 12.5	
前年比収益	0.0	▲ 3.1	▲ 6.7	▲ 10.0		5.9	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 37.5	
残 業 時 間	▲ 16.1	0.0	▲ 3.3	▲ 26.7	▲ 20.0	0.0	5.6	11.1	▲ 25.0	▲ 12.5
人 手	▲ 9.7	▲ 18.8	▲ 46.7	▲ 26.7	▲ 26.7	▲ 41.2	▲ 66.7	▲ 72.2	▲ 62.5	▲ 81.3
設 備 状 況	▲ 16.1	▲ 6.3	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 22.2	▲ 43.8	▲ 31.3
	卸 売 業					サ ー ビ ス 業				
売 上 額	▲ 8.7	27.3	21.7	▲ 36.4	18.2	▲ 14.3	▲ 11.1	▲ 26.7	▲ 46.7	4.4
収 益	▲ 26.1	9.1	▲ 8.7	▲ 31.8	0.0	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 31.1	▲ 46.7	▲ 2.2
販 売 価 格	52.2	40.9	39.1	31.8	40.9	16.7	22.2	33.3	17.8	24.4
仕 入 価 格	69.6	50.0	56.5	54.5	40.9	61.9	62.2	73.3	60.0	66.7
在 庫 数 量	▲ 13.0	4.5	13.0	18.2	9.1					
資 金 繰 り	▲ 30.4	▲ 9.1	▲ 8.7	▲ 9.1	▲ 13.6	0.0	▲ 6.7	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 17.8
前年比売上	▲ 13.0	▲ 4.5	34.8	9.1		▲ 26.2	▲ 8.9	▲ 11.1	▲ 22.2	
前年比収益	▲ 21.7	▲ 13.6	▲ 4.3	▲ 9.1		▲ 47.6	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 28.9	
残 業 時 間	4.3	▲ 9.1	▲ 13.0	▲ 18.2	4.5	▲ 16.7	4.4	▲ 2.2	▲ 8.9	6.7
人 手	▲ 26.1	▲ 13.6	▲ 39.1	▲ 22.7	▲ 22.7	▲ 40.5	▲ 46.7	▲ 48.9	▲ 55.6	▲ 57.8
設 備 状 況	▲ 8.7	▲ 4.5	▲ 8.7	▲ 4.5	0.0	▲ 9.5	▲ 15.6	▲ 17.8	▲ 15.6	▲ 17.8
	小 売 業					鉱 業				
売 上 額	▲ 21.8	▲ 20.4	▲ 5.0	▲ 20.3	▲ 23.7	60.0	100.0	0.0	▲ 100.0	60.0
収 益	▲ 30.9	▲ 33.3	▲ 15.0	▲ 32.2	▲ 35.6	60.0	100.0	▲ 20.0	▲ 60.0	20.0
販 売 価 格	41.8	40.7	41.7	32.2	42.4	60.0	40.0	0.0	0.0	60.0
仕 入 価 格	60.0	66.7	63.3	57.6	59.3	40.0	80.0	40.0	20.0	40.0
在 庫 数 量	▲ 3.6	1.9	▲ 8.3	▲ 5.1	▲ 6.8	▲ 40.0	20.0	0.0	20.0	▲ 20.0
資 金 繰 り	▲ 16.4	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 15.3	▲ 18.6	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
前年比売上	▲ 14.5	▲ 7.4	▲ 10.0	▲ 20.3		20.0	60.0	40.0	20.0	
前年比収益	▲ 50.9	▲ 24.1	▲ 36.7	▲ 37.3		▲ 20.0	80.0	0.0	▲ 20.0	
残 業 時 間	▲ 20.0	▲ 5.6	▲ 8.3	▲ 15.3	▲ 5.1	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0
人 手	▲ 27.3	▲ 24.1	▲ 33.3	▲ 28.8	▲ 35.6	▲ 20.0	▲ 40.0	0.0	0.0	0.0
設 備 状 況	▲ 14.5	▲ 13.0	▲ 6.7	▲ 23.7	▲ 25.4	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0
	建 設 業					不 動 産 業				
売 上 額	▲ 11.8	15.4	▲ 13.2	▲ 39.2	▲ 13.7	9.1	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3
収 益	▲ 33.3	▲ 3.8	▲ 18.9	▲ 31.4	▲ 35.3	▲ 9.1	▲ 22.2	18.2	22.2	▲ 33.3
販 売 価 格	7.8	13.5	5.7	▲ 3.9	13.7	9.1	11.1	0.0	22.2	0.0
仕 入 価 格	90.2	75.0	67.9	58.8	70.6	36.4	33.3	36.4	11.1	22.2
在 庫 数 量	▲ 5.9	0.0	▲ 3.8	2.0	▲ 3.9	▲ 18.2	0.0	▲ 9.1	▲ 11.1	▲ 33.3
資 金 繰 り	▲ 2.0	▲ 5.8	▲ 5.7	▲ 7.8	▲ 17.6	0.0	▲ 11.1	0.0	▲ 11.1	0.0
前年比売上	▲ 21.6	▲ 30.8	▲ 17.0	▲ 37.3		27.3	33.3	18.2	33.3	
前年比収益	▲ 39.2	▲ 30.8	▲ 26.4	▲ 37.3		0.0	11.1	36.4	33.3	
残 業 時 間	▲ 17.6	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 11.8	▲ 13.7	18.2	0.0	9.1	11.1	▲ 22.2
人 手	▲ 35.3	▲ 44.2	▲ 49.1	▲ 23.5	▲ 31.4	▲ 36.4	▲ 44.4	▲ 45.5	▲ 22.2	▲ 22.2
設 備 状 況	▲ 3.9	▲ 7.7	▲ 13.2	0.0	0.0					

\*各項目選択肢の構成比 (%) の差による指数。選択肢は項目ごとに異なる。

## 「業況判断」(D.I.)の回答の内訳



### 製造業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲23.3 —

回答事業所30件 (回答率78.9%)

管内製造業30社による業況判断指数は「▲23.3」、前期比13.3ポイント後退したが、前年同期比では9.0ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲19.0」前期比24.0ポイント後退、郡部は「▲33.3」前期比6.7ポイント改善した。

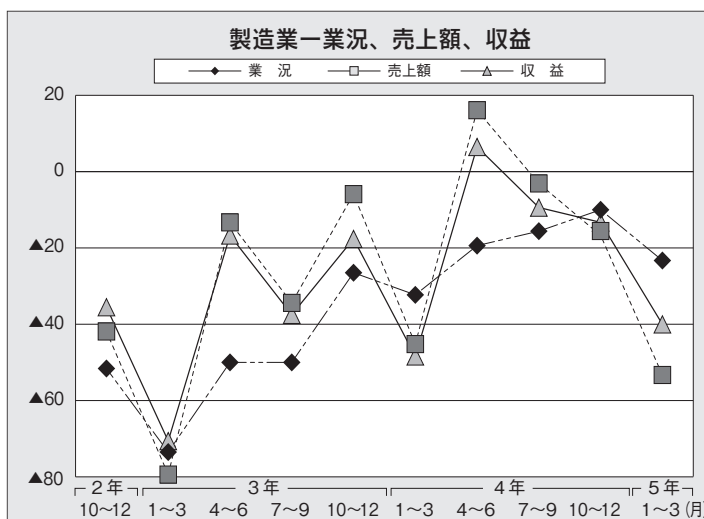
売上額指数は「▲53.3」、前期比36.6ポイント後退、前年同期比でも8.1ポイント後退した。

収益指数は「▲40.0」、前期比26.7ポイント後退したが、前年同期比では8.4ポイント改善した。

業況判断指数は1頁の表参照

売上額指数、収益指数は4頁の表参照

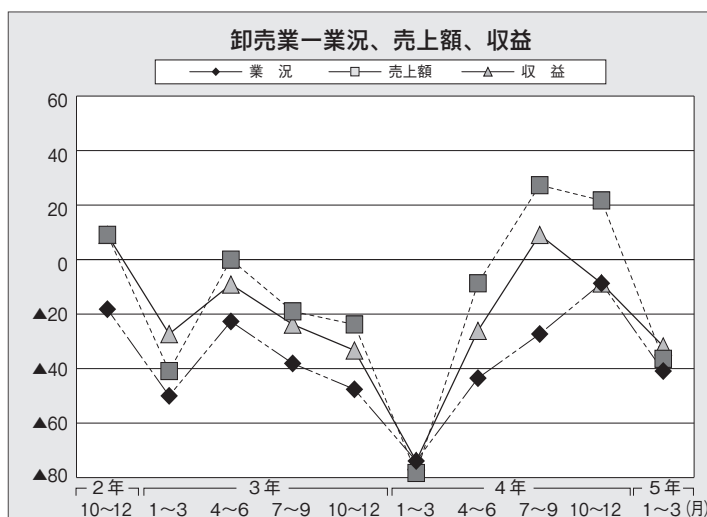
以下各業種とも同じ



### 卸売業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲40.9 —

回答事業所22件 (回答率88.0%)



管内卸売業22社による業況判断指数は「▲40.9」、前期比32.2ポイント後退したが、前年同期比では33.0ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲29.4」前期比29.4ポイント後退、郡部も「▲80.0」前期比40.0ポイント後退した。

売上額指数は「▲36.4」、前期比58.1ポイント後退したが、前年同期比では41.9ポイント改善した。

収益指数は「▲31.8」、前期比23.1ポイント後退したが、前年同期比では42.1ポイント改善した。

## 小売業

— 業況判断指数 4期連続改善 ▲23.7 —

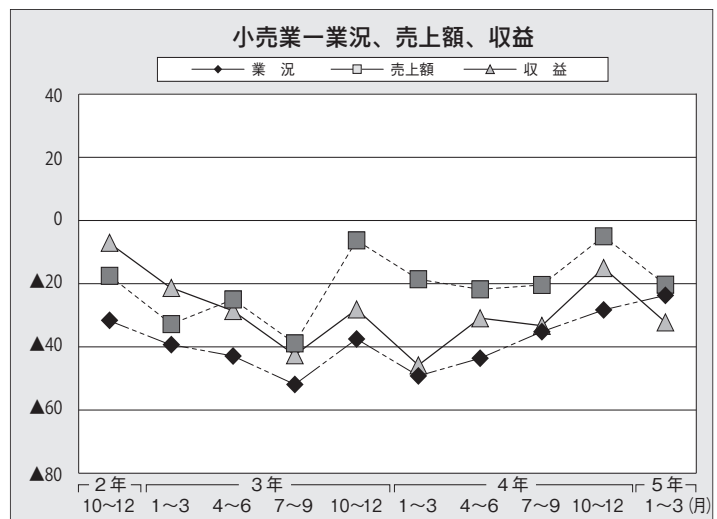
回答事業所59件 (回答率81.9%)

管内小売業59社による業況判断指数は「▲23.7」、前期比4.6ポイント改善、前年同期比でも25.5ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲26.7」前期比7.9ポイント後退、郡部は「▲20.7」前期比18.6ポイント改善した。

売上額指数は「▲20.3」、前期比15.3ポイント後退、前年同期比でも1.7ポイント後退した。

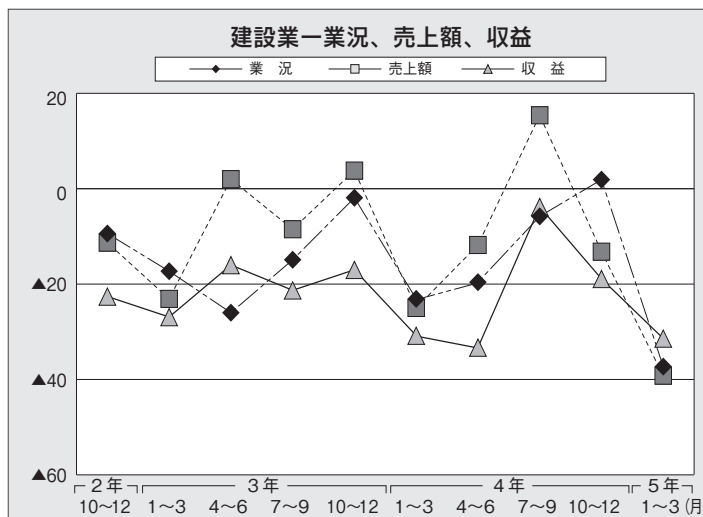
収益指数は「▲32.2」、前期比17.2ポイント後退したが、前年同期比では13.6ポイント改善した。



## 建設業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲37.3 —

回答事業所51件 (回答率85.0%)



管内建設業51社による業況判断指数は「▲37.3」、前期比39.2ポイント後退、前年同期比でも14.2ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲41.7」前期比49.6ポイント後退、郡部も「▲26.7」前期比13.4ポイント後退した。

売上額指数は「▲39.2」、前期比26.0ポイント後退、前年同期比でも14.2ポイント後退した。

収益指数は「▲31.4」、前期比12.5ポイント後退、前年同期比でも0.6ポイント後退した。

## 運輸業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲37.5 —

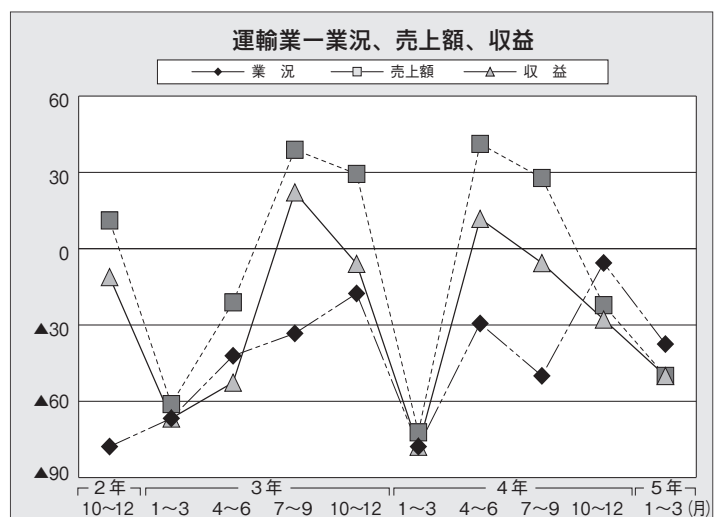
回答事業所16件 (回答率80.0%)

管内運輸業16社による業況判断指数は「▲37.5」、前期比31.9ポイント後退したが、前年同期比では40.3ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲50.0」前期比40.0ポイント後退、郡部も「▲25.0」前期比25.0ポイント後退した。

売上額指数は「▲50.0」、前期比27.8ポイント後退したが、前年同期比では22.2ポイント改善した。

収益指数は「▲50.0」、前期比22.2ポイント後退したが、前年同期比では27.8ポイント改善した。

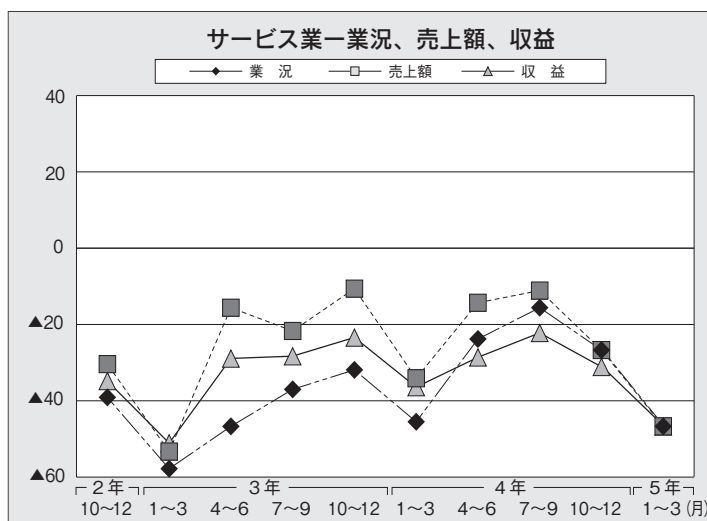




## サービス業

— 業況判断指数 2期連続後退 ▲46.7 —

回答事業所45件 (回答率83.3%)



管内サービス業45社による業況判断指数は「▲46.7」、前期比20.0ポイント後退、前年同期比でも1.2ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲50.0」前期比27.4ポイント後退、郡部も「▲40.0」前期比4.3ポイント後退した。

売上額指数は「▲46.7」、前期比20.0ポイント後退、前年同期比でも12.6ポイント後退した。

収益指数は「▲46.7」、前期比15.6ポイント後退、前年同期比でも10.3ポイント後退した。

## 鉱業

— 業況判断指数 前期比横這い 20.0 —

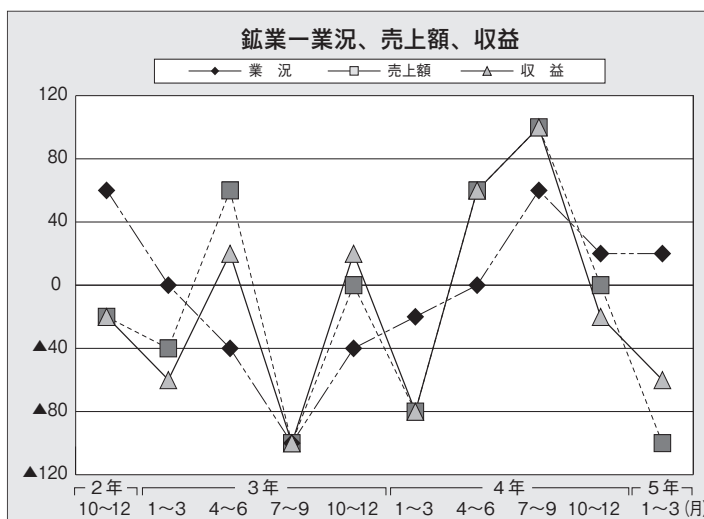
回答事業所5件 (回答率100.0%)

管内鉱業5社による業況判断指数は「20.0」、前期比横這い、前年同期比では40.0ポイント改善した。

地域別では、市部が「100.0」前期比100.0ポイント改善、郡部は「0.0」前期比25.0ポイント後退した。

売上額指数は「▲100.0」、前期比100.0ポイント後退、前年同期比でも20.0ポイント後退した。

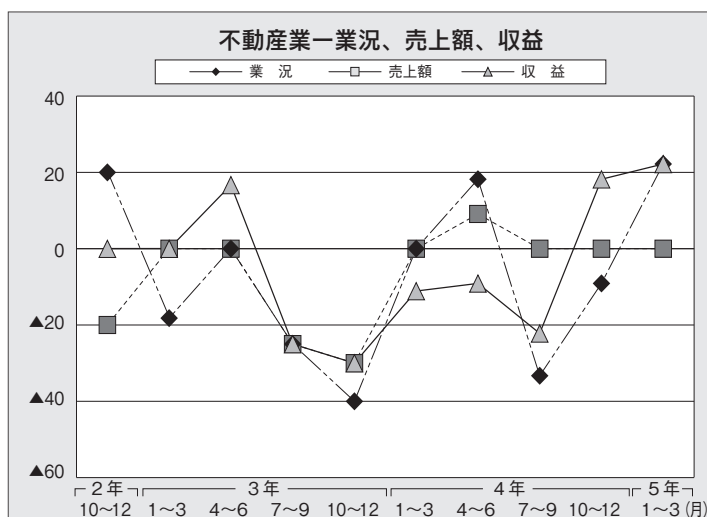
収益指数は「▲60.0」、前期比40.0ポイント後退したが、前年同期比では20.0ポイント改善した。



## 不動産業

— 業況判断指数 2期連続改善 22.2 —

回答事業所9件 (回答率81.8%)



管内不動産業9社による業況判断指数は「22.2」、前期比31.3ポイント改善、前年同期比でも22.2ポイント改善した。

地域別では、市部が「12.5」前期比32.5ポイント改善、郡部は「100.0」前期比横這い。

売上額指数は「0.0」、前期比横這い、前年同期比でも横這いとなった。

収益指数は「22.2」、前期比4.0ポイント改善、前年同期比でも33.3ポイント改善した。

# 特別調査アンケート結果

## 「中小企業における デジタル化への対応について」

### 問1 貴社では、インボイス発行事業者への登録申請を求める動きに対し どのように対応しておりますか。

#### ◎7割超が「既に登録申請を行った」と回答

インボイス制度への対応について、課税事業者（227先）の中では「既に登録申請を行った」が76.2%（173社）、「まだ登録申請をしていない」が17.2%（39社）、免税事業者（10社）では「登録申請は行わない予定（免税事業者のまま）」が50.0%（5社）、「まだ対応方針は決めていない」が40.0%（4社）などとなっている。業種別にみると、課税事業者で「既に登録申請を行った」と回答したのは、建設業で88.2%（45社）、卸売業で81.8%（18社）が高い割合となった。

単位：%

インボイス制度への対応（237社）		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
課税	既に登録申請を行った	76.2	76.7	81.8	76.8	88.2	68.8	66.7	60.0	50.0
	まだ登録申請をしていない	17.2	20.0	9.1	17.9	5.9	12.5	25.6	40.0	50.0
	「インボイス制度」自体がわからない	6.6	3.3	9.1	5.4	5.9	18.8	7.7	0.0	0.0
免税	既に登録申請を行った	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	近いうちに登録申請を行う予定	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登録申請は行わない予定（免税事業者のまま）	50.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	まだ対応方針は決めていない	40.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	「インボイス制度」自体がわからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 問2 貴社では、電子帳簿保存法改正について、どの程度の認知度にありますか、また、現在の対応状況についてお答えください。

#### ◎7割超がある程度認知しているが、対応は遅れている

電子帳簿保存法改正の認知度について、「意味はある程度わかる」が57.8%（137社）で最も高く、「名前しか知らない」23.2%（55社）、「内容までよく知っている」が16.0%（38社）と続く。業種別では、製造業の「意味はある程度わかる」が73.3%（22社）と高い割合となっている。

一方で、対応については「対応できていない」が40.9%（97社）、「一部対応できている」が26.2%（62社）、「対応できている」が11.8%（28社）と続く。業種別では、運輸業の「対応できていない」が62.5%（10社）と高くなっている。

単位：%

電子帳簿保存法改正について		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
認知度	内容までよく知っている	16.0	20.0	13.6	11.9	21.6	12.5	15.6	20.0	11.1
	意味はある程度わかる	57.8	73.3	45.5	55.9	52.9	62.5	57.8	60.0	66.7
	名前しか知らない	23.2	6.7	36.4	30.5	19.6	18.8	24.4	20.0	22.2
	聞いたことがない	3.0	0.0	4.5	1.7	5.9	6.3	2.2	0.0	0.0
対応	対応できている	11.8	6.7	18.2	15.3	11.8	6.3	11.1	0.0	11.1
	一部対応できている	26.2	40.0	18.2	23.7	23.5	12.5	26.7	40.0	44.4
	対応できていない	40.9	43.3	36.4	40.7	39.2	62.5	33.3	60.0	44.4
	電子データの授受無く、当社には関係ない	10.1	3.3	13.6	8.5	11.8	12.5	15.6	0.0	0.0
	よくわからない	11.0	6.7	13.6	11.9	13.7	6.3	13.3	0.0	0.0

### 問3 貴社では、企業間での資金決済の際、手形およびでんさい(電子記録債権)をどの程度利用していますか。

#### ◎手形およびでんさいの利用割合は低い

資金決済における手形の利用割合は、「全く使っていない」が55.7%（132社）と最も多く、次いで「取引の10%未満」が22.8%（54社）、「取引の10%以上～30%未満」が10.1%（24社）と続く。

一方、でんさい（電子記録債権）の利用割合は、「全く使っていない」が80.6%（191社）と8割を超え、多少なりとも利用しているのは19.4%（46社）にとどまった。

単位：%

資金決済における手形・でんさいの利用割合	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産	
手形	取引の50%以上	4.2	10.0	9.1	0.0	5.9	0.0	2.2	20.0	0.0
	取引の30%以上～50%未満	7.2	6.7	18.2	5.1	9.8	0.0	4.4	20.0	0.0
	取引の10%以上～30%未満	10.1	16.7	4.5	6.8	17.6	6.3	4.4	40.0	0.0
	取引の10%未満	22.8	33.3	22.7	27.1	23.5	37.5	8.9	20.0	0.0
	全く使っていない	55.7	33.3	45.5	61.0	43.1	56.3	80.0	0.0	100.0
でんさい	取引の50%以上	2.1	0.0	9.1	3.4	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
	取引の30%以上～50%未満	1.7	3.3	0.0	1.7	2.0	0.0	2.2	0.0	0.0
	取引の10%以上～30%未満	3.4	3.3	9.1	1.7	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	取引の10%未満	12.2	20.0	4.5	10.2	13.7	25.0	2.2	60.0	11.1
	全く使っていない	80.6	73.3	77.3	83.1	76.5	75.0	93.3	40.0	88.9

## 問4 貴社でのデジタル化投資の満足度および今後のデジタル化投資の計画について、どのようにお考えですか。

### ◎デジタル化投資については約5割が満足、今後拡充する予定は約3割

デジタル化投資の満足度について、「やや満足している」が43.0%（102社）、「あまり満足していない」が24.9%（59社）、「もともとデジタル化投資を実施していない」が20.3%（48社）と続いた。

今後の投資計画については、「現状維持の予定」が52.7%（125社）、「拡充する予定」が27.4%（65社）、「デジタル化投資は行わない」が19.4%（46社）と続いた。

単位：%

デジタル化投資について		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
満足度	大いに満足している	5.5	3.3	4.5	13.6	3.9	0.0	2.2	0.0	0.0
	やや満足している	43.0	30.0	31.8	30.5	62.7	56.3	42.2	40.0	66.7
	あまり満足していない	24.9	33.3	22.7	16.9	23.5	25.0	31.1	40.0	22.2
	まったく満足していない	6.3	13.3	4.5	10.2	2.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	もともとデジタル化投資を実施していない	20.3	20.0	36.4	28.8	7.8	18.8	17.8	20.0	11.1
今後の計画	拡充する予定	27.4	36.7	22.7	27.1	33.3	12.5	28.9	20.0	0.0
	現状維持の予定	52.7	46.7	50.0	44.1	58.8	62.5	51.1	60.0	88.9
	縮小する予定	0.4	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	デジタル化投資は行わない	19.4	16.7	27.3	27.1	7.8	25.0	20.0	20.0	11.1

## 問5 貴社では、デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。

### ◎様々な項目が「問題点・課題」として捉えられている

デジタル化を進めるに際しての問題点・課題は、「導入・維持にかかるコストの負担が大きい」が34.6%（82社）と最も高く、「セキュリティの確保への不安」および「活用方法に関する知識の不足」がともに32.1%（76社）で続く一方、「特に問題点・課題はない」との回答は13.5%（32社）にとどまった。

上位項目を業種別にみると、「導入・維持にかかるコストの負担が大きい」では、建設業が41.2%（21社）、サービス業が40.0%（18社）と高く、「セキュリティの確保への不安」では、建設業45.1%（23社）、卸売業40.9%（9社）、「活用方法に関する知識の不足」では、製造業が43.3%（13社）と高い割合となった。

（最大3つまで回答） 単位：%

デジタル化の問題点・課題	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
費用対効果の把握が困難	20.7	16.7	13.6	16.9	27.5	37.5	20.0	20.0	11.1
技術革新が速すぎて対応しきれない	26.2	13.3	27.3	32.2	29.4	31.3	20.0	20.0	33.3
セキュリティの確保への不安	32.1	20.0	40.9	18.6	45.1	31.3	37.8	40.0	33.3
トラブル発生時の対応が困難	28.7	20.0	31.8	30.5	27.5	43.8	28.9	0.0	33.3
導入・維持にかかるコスト負担が大きい	34.6	30.0	36.4	33.9	41.2	18.8	40.0	20.0	22.2
情報分野に長けた社員の不足	28.3	30.0	18.2	25.4	35.3	37.5	26.7	0.0	33.3
活用方法に関する知識の不足	32.1	43.3	36.4	28.8	37.3	25.0	24.4	40.0	22.2
経営者・社員が必要と感じていない	7.2	10.0	22.7	3.4	3.9	12.5	2.2	20.0	11.1
その他（ ）	2.1	3.3	0.0	3.4	2.0	0.0	0.0	20.0	0.0
特に問題点・課題はない	13.5	20.0	9.1	22.0	2.0	6.3	17.8	0.0	11.1

# 管内主要経済統計

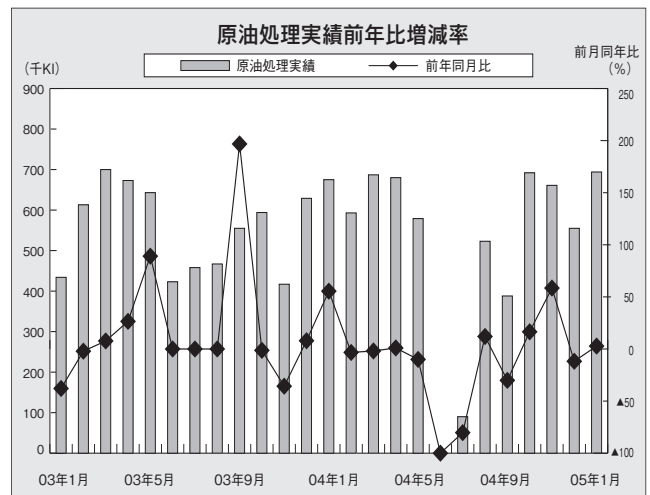
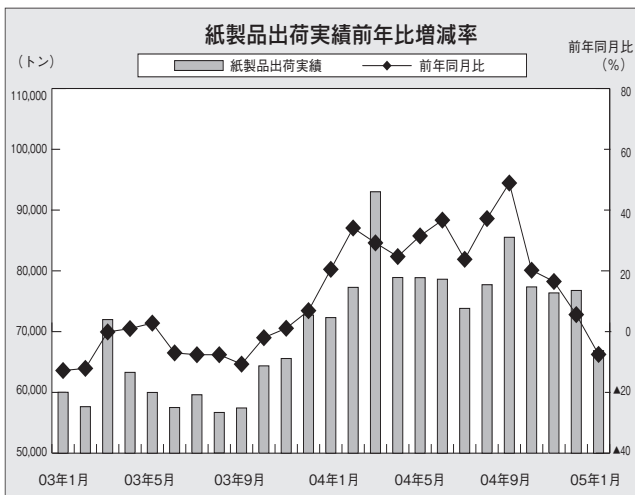
## 1. 製造業の状況

### 主要製造業生産動向

(単位：比%)

	紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比		紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比
04年01月	72,309	20.5	675	55.5	04年08月	77,718	37.2	523	12.0
04年02月	77,282	34.1	593	▲ 3.3	04年09月	85,521	48.9	388	▲ 30.1
04年03月	93,011	29.2	687	▲ 1.9	04年10月	77,358	20.2	692	16.5
04年04月	78,904	24.7	680	1.0	04年11月	76,371	16.5	661	58.5
04年05月	78,878	31.5	579	▲ 10.0	04年12月	76,772	5.6	555	▲ 11.8
04年06月	78,621	36.7	0	▲ 100.0	05年01月	66,877	▲ 7.5	694	2.8
04年07月	73,821	23.8	90	▲ 80.3					

\*資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報



## 2. 土木・建設の状況

### ① 公共工事

(単位：百万円・%)

	苫小牧市		室蘭建設管理部		室蘭開発建設部	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
04年01月	0	▲ 100.0	91	▲ 78.6	0	—
04年02月	0	—	12	0.0	2,619	101.8
04年03月	711	10.4	1,123	▲ 30.4	6,084	▲ 26.5
04年04月	348	▲ 75.9	481	440.4	7,201	▲ 39.7
04年05月	1,863	196.7	164	▲ 75.7	4,180	▲ 27.8
04年06月	1,563	▲ 30.3	1,521	107.8	4,523	▲ 15.3
04年07月	495	▲ 39.3	613	▲ 37.3	2,805	▲ 28.9
04年08月	636	▲ 42.8	1,037	▲ 1.0	627	▲ 91.4
04年09月	633	▲ 44.5	711	5.5	687	▲ 83.0
04年10月	334	▲ 65.2	103	▲ 75.8	3,515	—
04年11月	395	11.6	418	44.1	242	▲ 28.8
04年12月	79	▲ 58.2	294	635.0	367	—
05年01月	4	—	31	▲ 65.9	165	—

\*資料出所 — 苫小牧市、苫小牧商工会議所調査月報

## ② 建築確認申請・住宅着工

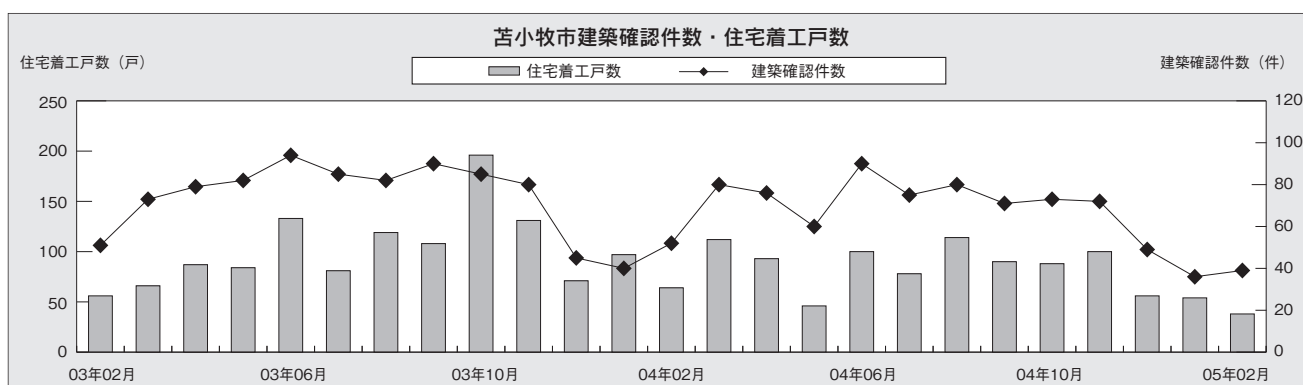
### 苫小牧市建築確認申請件数・住宅着工戸数

	建築確認件数		住宅着工戸数	
	件数	前年比(%)	戸数	前年比(%)
04年02月	52	2.0	64	14.3
04年03月	80	9.6	112	69.7
04年04月	76	▲3.8	93	6.9
04年05月	60	▲26.8	46	▲45.2
04年06月	90	▲4.3	100	▲24.8
04年07月	75	▲11.8	78	▲3.7
04年08月	80	▲2.4	114	▲4.2
04年09月	71	▲21.1	90	▲16.7
04年10月	73	▲14.1	88	▲55.1
04年11月	72	▲10.0	100	▲23.7
04年12月	49	8.9	56	▲21.1
05年01月	36	▲10.0	54	▲44.3
05年02月	39	▲25.0	38	▲40.6

### 管内建築確認申請件数・住宅着工戸数(4年12月~5年2月)

	建築確認申請件数		住宅着工戸数	
	件数	前年差異	戸数	前年差異
苫小牧市	124	▲13	148	▲84
千歳市	66	▲7		
白老町	8	1	9	2
厚真町	2	1	0	▲1
安平町	3	3	3	3
むかわ町	3	▲4	2	▲3
日高町	3	3	1	1
平取町	1	0	0	▲1
新冠町	0	▲2	2	▲2
新ひだか町	3	▲1	2	▲1

建築確認件数は、指定確認検査機関の受付件数を加えて掲載しております。



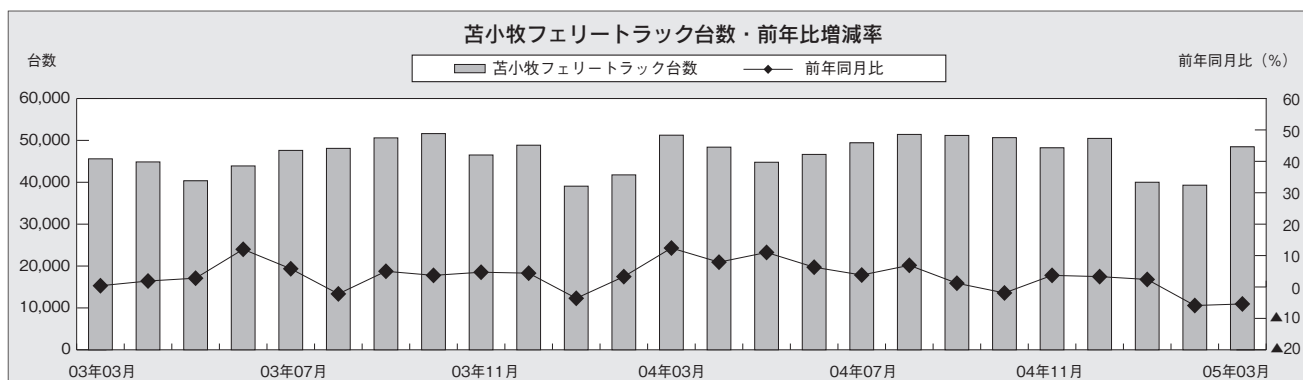
## 3. 海運・運輸の状況

### ① 苫小牧港フェリー運航状況

(単位: 比%)

	航海数		乗用車		トラック		バス		自動2輪		旅客	
	便	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	人	前年比
04年03月	587	4.1	17,727	7.1	51,245	12.4	152	47.6	386	22.5	52,363	15.6
04年04月	530	▲6.5	19,871	26.2	48,388	7.9	97	70.2	1,331	77.7	52,802	34.6
04年05月	561	▲2.1	21,973	60.6	44,783	11.0	67	97.1	3,063	123.7	61,817	66.3
04年06月	572	8.5	20,705	69.1	46,652	6.3	62	47.6	2,856	110.0	55,815	61.9
04年07月	599	▲2.0	25,913	40.0	49,429	3.8	136	49.5	8,018	47.6	79,374	39.9
04年08月	629	4.7	32,211	54.7	51,426	6.9	172	17.0	10,120	57.3	106,258	61.0
04年09月	583	▲4.0	24,016	55.0	51,183	1.2	84	35.5	6,265	74.3	72,767	53.8
04年10月	612	▲0.6	22,002	26.0	50,655	▲1.9	74	2.8	1,635	44.8	58,648	18.0
04年11月	597	3.5	16,170	15.0	48,233	3.7	83	5.1	322	12.6	45,287	7.3
04年12月	585	6.6	15,494	7.2	50,475	3.3	104	6.1	188	▲17.9	49,761	1.8
05年01月	495	3.8	14,764	8.1	40,008	2.4	76	▲3.8	212	▲7.8	44,827	4.3
05年02月	470	▲0.4	11,250	18.3	39,304	▲5.9	151	155.9	206	▲21.1	37,564	19.4
05年03月	572	▲2.6	20,293	14.5	48,473	▲5.4	155	2.0	384	▲0.5	61,918	18.2

\*資料出所 … 北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所 \*上り・下り便の合計 \*トラックはシャーシのみを含む

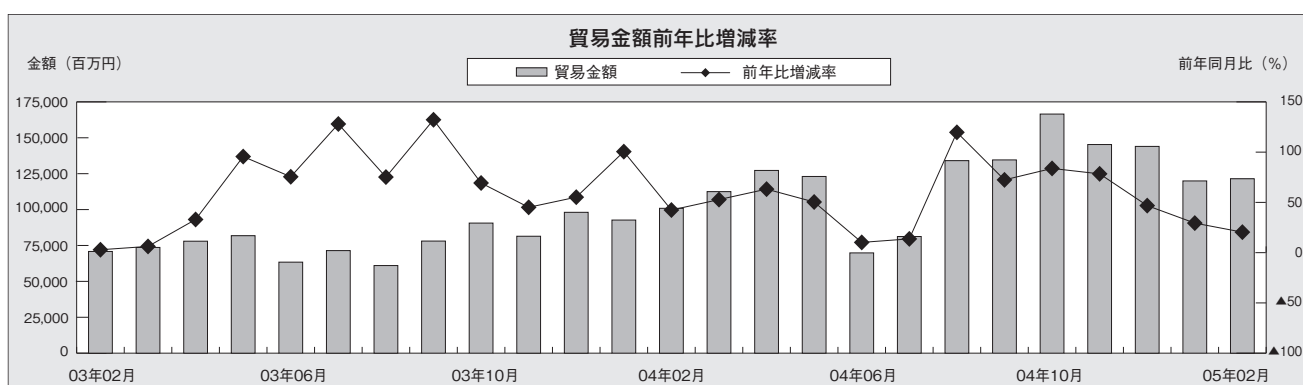


## ② 貿易実績

(単位：百万円・%)

	輸 出		輸 入		貿易金額合計	
	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
04年02月	12,735	50.7	88,147	41.3	100,882	42.4
04年03月	16,904	46.8	95,595	53.9	112,499	52.8
04年04月	22,065	41.0	105,186	68.8	127,251	63.2
04年05月	14,716	38.8	108,337	52.2	123,053	50.4
04年06月	15,899	22.3	53,934	7.0	69,833	10.2
04年07月	27,595	101.5	53,657	▲7.1	81,252	13.7
04年08月	32,537	145.3	101,535	112.6	134,072	119.7
04年09月	38,309	222.5	96,279	45.4	134,588	72.4
04年10月	23,660	37.9	142,853	94.5	166,513	83.8
04年11月	16,654	7.5	128,646	95.1	145,300	78.4
04年12月	16,490	20.3	127,501	51.1	143,991	46.8
05年01月	10,282	▲5.6	109,666	34.1	119,949	29.4
05年02月	14,865	16.7	106,606	20.9	121,471	20.4

\*資料出所 … 函館税関苫小牧税関支署 (速報値)

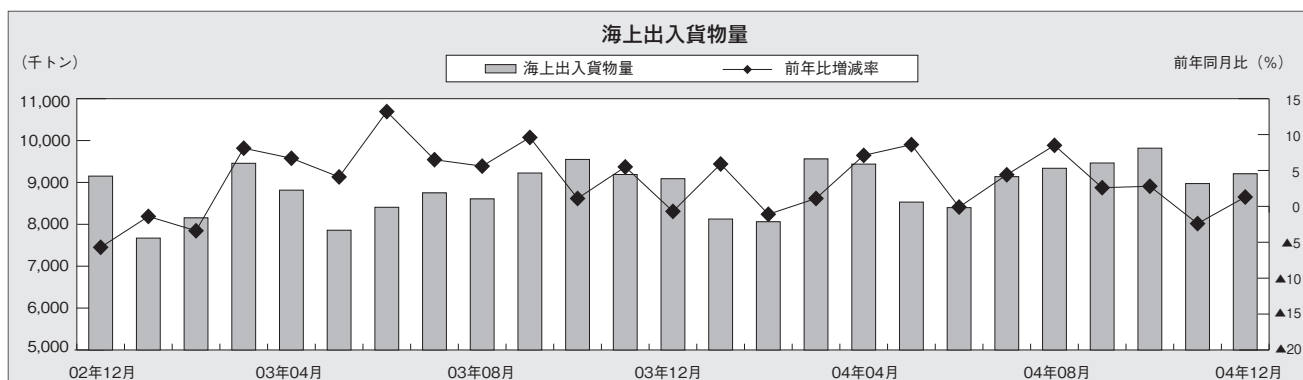


## ③ 苫小牧港港湾荷役取扱状況 (重量)

(単位：千トン・%)

	輸 出	前年比	輸 入	前年比	移 出	前年比	移 入	前年比	合 計	前年比
03年12月	78	▲7.1	1,333	▲5.4	3,908	3.4	3,770	▲2.8	9,089	▲0.7
04年01月	74	93.0	1,542	22.2	3,350	7.2	3,160	▲2.6	8,126	5.9
04年02月	78	4.7	1,191	▲13.9	3,426	3.0	3,368	▲0.1	8,062	▲1.1
04年03月	97	7.3	1,273	▲22.8	4,075	5.6	4,116	6.6	9,561	1.1
04年04月	98	▲2.7	1,365	7.2	3,984	9.5	3,992	4.9	9,438	7.1
04年05月	85	6.4	1,030	▲13.1	3,713	12.4	3,703	12.5	8,531	8.6
04年06月	75	5.5	686	▲32.0	3,662	▲0.8	3,975	9.3	8,398	▲0.1
04年07月	160	101.2	840	▲11.5	3,879	▲0.3	4,259	11.2	9,138	4.4
04年08月	215	217.8	1,119	13.4	3,952	5.8	4,052	6.2	9,338	8.5
04年09月	241	395.6	1,242	▲3.5	3,918	0.3	4,062	2.0	9,464	2.6
04年10月	106	▲28.7	1,535	28.8	4,103	0.9	4,075	▲1.6	9,818	2.8
04年11月	76	▲33.8	1,287	▲16.0	3,876	2.4	3,734	▲0.6	8,973	▲2.4
04年12月	84	6.8	1,293	▲3.0	3,846	▲1.6	3,983	5.6	9,207	1.3

\*資料出所 … 苫小牧港管理組合 (HP) (\*数値は速報値のため、後日変更となることもあります。)



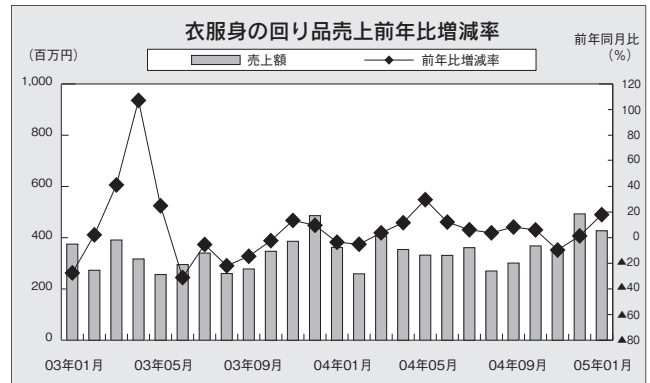
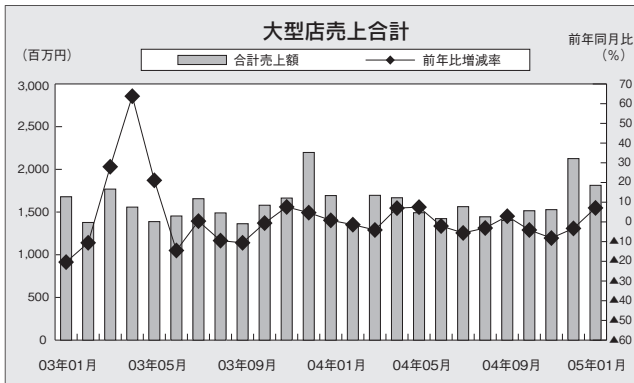
# 4. 商業の状況

## ① 大型店売上状況

(単位：百万円・%)

	衣服・身の回り品		飲食料品		飲食店		家具・建具・什器		その他		合計	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
04年01月	362	▲ 3.5	355	▲ 0.6	223	13.2	33	▲ 10.8	720	1.0	1,693	0.8
04年02月	259	▲ 5.1	370	13.5	157	▲ 9.8	32	▲ 30.4	542	▲ 3.2	1,359	▲ 1.4
04年03月	406	3.8	370	3.9	230	▲ 28.3	39	▲ 20.4	651	▲ 0.2	1,696	▲ 4.1
04年04月	354	11.7	329	3.5	202	1.0	40	▲ 23.1	742	10.6	1,667	7.0
04年05月	332	29.7	329	5.1	214	23.0	38	▲ 13.6	579	▲ 3.8	1,492	7.5
04年06月	331	12.2	349	2.6	196	14.0	39	25.8	508	▲ 17.5	1,423	▲ 2.1
04年07月	361	6.2	376	1.3	208	0.0	39	▲ 15.2	579	▲ 16.1	1,563	▲ 5.6
04年08月	270	3.8	347	3.0	223	5.2	45	▲ 2.2	559	▲ 12.0	1,444	▲ 3.1
04年09月	301	8.3	320	14.7	198	8.2	49	▲ 2.0	534	▲ 6.6	1,402	2.9
04年10月	368	6.1	333	2.5	212	2.4	53	▲ 5.4	549	▲ 15.0	1,515	▲ 4.1
04年11月	349	▲ 9.6	371	1.6	209	▲ 0.5	44	▲ 13.7	555	▲ 14.9	1,528	▲ 8.2
04年12月	493	1.4	537	2.9	272	0.7	46	▲ 14.8	778	▲ 10.1	2,126	▲ 3.3
05年01月	427	18.0	388	9.3	256	14.8	35	6.1	707	▲ 1.8	1,813	7.1

\*資料出所 苫小牧商工会議所調査月報 \*大型店＝売り場面積が1,500㎡以上の小売店の内、令和4年3月から市内2店舗を対象。

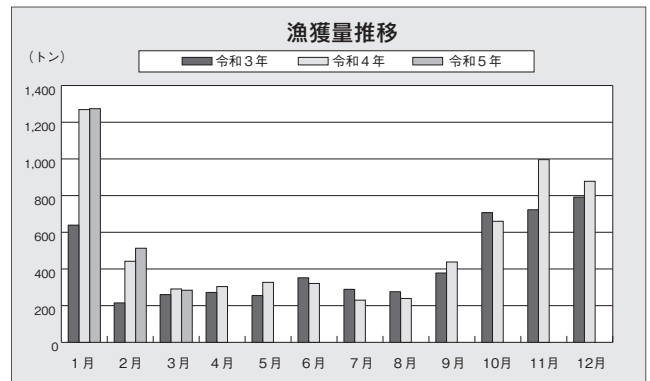
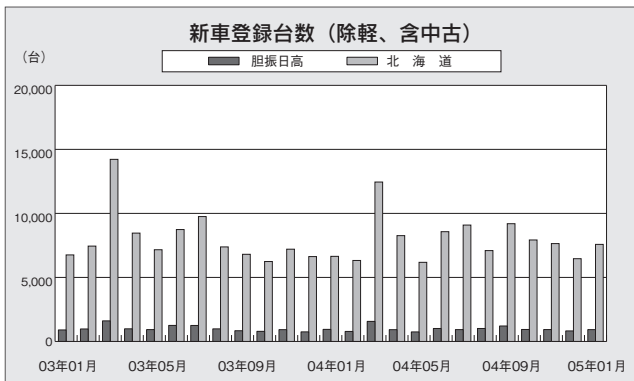


## ② 新車登録台数

(単位：台・%)

	新車登録台数 (除軽)										苫小牧市軽自動車	
	胆振日高 (室支局管内)					北海道		全国			新規登録台数	
	小型乗用	前年比	その他	前年比	合計	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
04年01月	320	▲ 7.8	623	12.9	943	4.9	6,646	▲ 1.7	207,123	▲ 12.5	394	▲ 1.7
04年02月	308	▲ 9.4	474	▲ 25.4	782	▲ 19.8	6,324	▲ 15.1	213,699	▲ 18.6	455	4.6
04年03月	435	▲ 24.9	1,132	10.0	1,567	▲ 2.5	12,449	▲ 12.5	327,293	▲ 14.8	585	▲ 23.7
04年04月	321	▲ 17.9	600	0.5	921	▲ 6.8	8,264	▲ 2.3	178,761	▲ 15.0	563	▲ 19.9
04年05月	257	▲ 21.6	488	▲ 18.5	745	▲ 19.6	6,179	▲ 13.7	161,354	▲ 16.7	531	▲ 5.0
04年06月	347	▲ 14.3	665	▲ 21.5	1,012	▲ 19.2	8,573	▲ 1.9	197,530	▲ 15.8	600	▲ 2.3
04年07月	258	▲ 36.6	668	▲ 20.6	926	▲ 25.8	9,089	▲ 6.8	214,134	▲ 13.4	527	▲ 10.4
04年08月	347	2.1	665	3.3	1,012	2.8	7,096	▲ 3.9	179,075	▲ 13.3	524	▲ 4.9
04年09月	415	62.7	792	35.8	1,207	44.0	9,196	35.1	242,042	17.8	637	13.5
04年10月	392	45.2	543	4.6	935	18.5	7,925	27.0	211,542	19.7	566	6.8
04年11月	359	2.3	570	▲ 0.2	929	0.8	7,643	6.1	221,541	1.0	574	22.1
04年12月	255	▲ 1.2	568	15.7	823	9.9	6,463	▲ 2.5	209,090	▲ 4.4	477	10.2
05年01月	265	▲ 17.2	660	5.9	925	▲ 1.9	7,580	14.1	229,497	10.8	476	20.8

資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報・経済産業局・自販連



【商業関連情報—卸売市場・物価・漁獲】

苫小牧市管内漁獲高動向概算値（令和5年1月～3月）

（数量：トン、金額：千円、増減-比：％）

数量上位	数量	前年比増減	順位	金額上位	金額	前年比増減
たら類	1,539	▲2.0	1	ほっき貝	150,643	28.2
ほっき貝	330	23.3	2	たら類	131,432	12.7
かれい	79	28.4	3	その他魚類	30,184	45.4
その他魚類	58	52.0	4	えぞばかがい	21,965	9.3
えぞばかがい	21	▲7.9	5	かれい	20,645	34.4
05年1月～3月合計	2,071	3.4		05年1月～3月合計	392,504	25.2
05年1月～12月累計	2,071	3.4		05年1月～12月累計	392,504	25.2

苫小牧市公設地方卸売市場取扱実績（令和5年1月～3月）

（単位：数量-トン、花卉-千本・千鉢、金額-千円、比-％）

	水産物計	前年比	果実	前年比	蔬菜	前年比	青果計	前年比	花卉	前年比	
05年1月～3月	数量	3,358	11.4	684	6.2	1,154	▲5.4	1,837	▲1.4	民間移譲により、卸売市場での取り扱いはございません。	
	金額	1,999,493	58.8	325,907	8.1	269,931	▲16.3	595,913	▲4.6		
04年4月～05年3月 累計	数量	11,951	11.6	3,444	▲0.6	5,700	▲12.9	9,145	▲8.6	3,171	▲22.8
	金額	9,647,491	34.0	1,539,606	▲1.2	1,314,059	▲12.1	2,856,255	▲6.5	295,480	▲14.3

\*苫小牧市公設地方卸売市場資料より当金庫が作成 \*花卉につきましては、令和5年1月より民間移譲されたため累計は令和4年12月までの実績を掲載しております。

苫小牧市生活必需品価格動向、平均価格対前月上昇・下降上位5品（令和5年3月10日調べ）

（単位：円・％）

前月比上昇品	3月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格	順位	前月比下降品	3月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格
いか	310.0	41.2	186.5	1	きゅうり	67.8	▲25.8	74.7
きゃべつ	30.1	30.9	26.0	2	ほうれん草	99.6	▲21.0	90.0
もち	103.9	15.3	116.8	3	かずのこ	684.0	▲20.0	478.6
即席ラーメン	496.2	9.0	400.3	4	まがれい	124.7	▲15.6	124.0
はくさい	18.3	8.9	16.4	5	長ねぎ	56.8	▲15.5	69.1

\*生鮮品は100gあたり、もちは切りもち・袋詰め100gあたり、即席ラーメンは80g～100g程度・5袋パック1個

苫小牧市燃料価格動向（令和5年3月）

（単位：円・％）

品名	単位	2月価格	3月価格	前月比上昇率	（高値～安値）	前年3月平均価格
家庭用灯油	1リットル	111.91	112.99	1.0	126.00～105.60	114.98
プロパンガス	10.0m <sup>3</sup>	10,901.70	10,880.80	▲0.2	12,705.00～8,690.00	10,178.36
ガソリン（フル）	1リットル	163.00	164.71	1.1	169.00～162.00	171.86
ガソリン（セルフ）	1リットル	160.04	161.04	0.6	163.00～159.80	170.44

\*家庭用灯油…ホームタンク配達料込み、プロパンガス…体積買（10.0m<sup>3</sup>）、ガソリン…レギュラー

\*以上2表苫小牧市生活必需品価格動向表（苫小牧市市民生活部市民生活課）より当金庫が作成

5. 不動産の状況

登記事務取扱状況

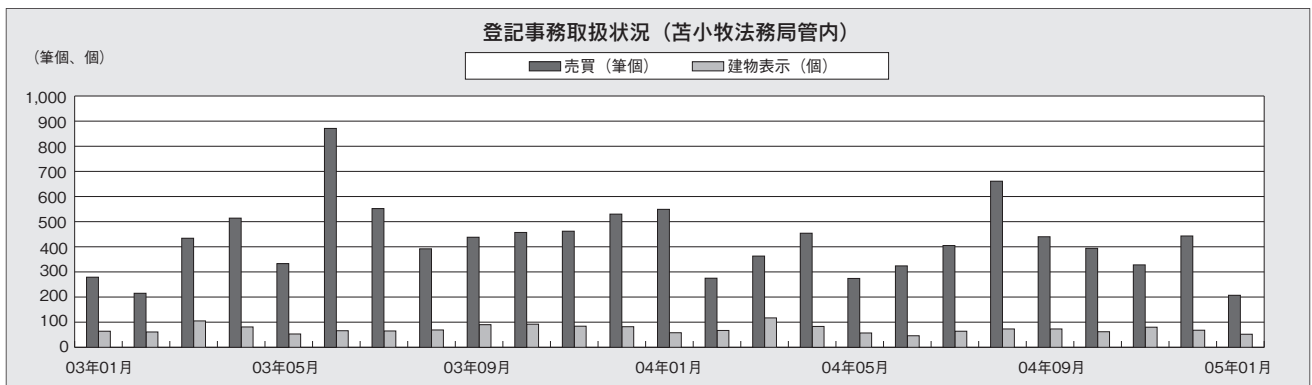
	売買 （筆個）	前年比 （％）	建物表示 （個）	前年比 （％）	国土法届出件数 （件）	前年差 （件）
04年01月	549	96.8	58	▲9.4	3	3
04年02月	275	27.9	67	9.8	4	▲2
04年03月	363	▲16.4	117	11.4	6	0
04年04月	454	▲11.7	83	2.5	4	▲1
04年05月	274	▲17.7	57	7.5	2	1
04年06月	324	▲62.8	46	▲30.3	3	▲2
04年07月	405	▲26.6	64	▲1.5	8	2
04年08月	661	68.6	73	5.8	3	▲2
04年09月	440	0.5	73	▲18.9	2	▲1
04年10月	394	▲13.8	62	▲32.6	2	▲2
04年11月	328	▲29.0	80	▲4.8	3	2
04年12月	443	▲16.4	68	▲17.1	4	4
05年01月	207	▲62.3	52	▲10.3	1	▲2

資料出所 … 売買・建物表示－苫小牧商工会議所調査月報（法務局苫小牧支局）

国土法届出－苫小牧商工会議所調査月報（苫小牧市都市建設部）

\*法務局苫小牧支局管内 … 苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町





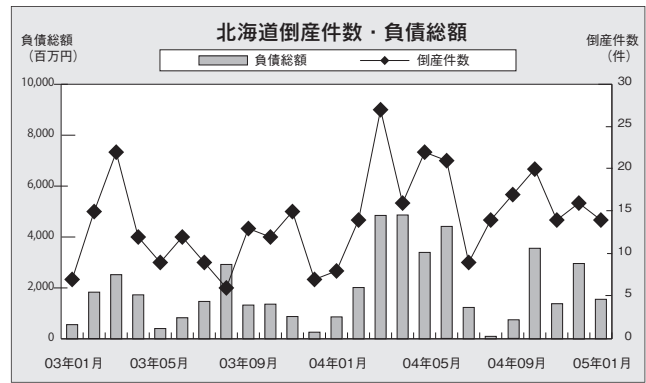
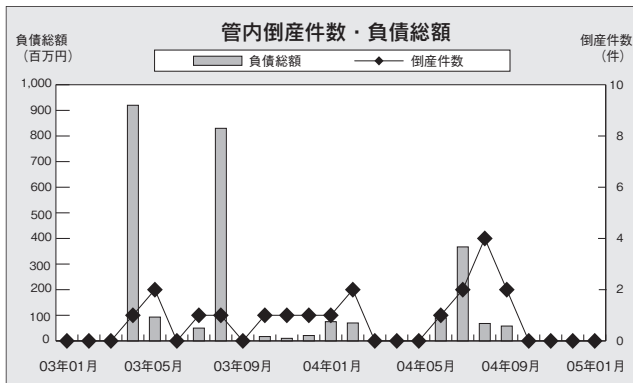
## 6. 企業倒産状況

	管内				北海道			
	倒産件数 (件)	前年差 (件)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)	倒産件数	前年比 (%)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)
04年01月	1	1	75	—	8	14.3	862	54.8
04年02月	2	2	70	—	14	▲6.7	2,015	10.5
04年03月	0	0	0	—	27	22.7	4,848	92.4
04年04月	0	▲1	0	▲100.0	16	33.3	4,865	181.5
04年05月	0	▲2	0	▲100.0	22	144.4	3,395	740.3
04年06月	1	1	90	—	21	75.0	4,401	432.2
04年07月	2	1	367	634.0	9	0.0	1,233	▲16.1
04年08月	4	3	68	▲91.8	14	133.3	97	▲96.7
04年09月	2	2	58	—	17	30.8	731	▲44.9
04年10月	0	▲1	0	▲100.0	20	66.7	3,557	161.2
04年11月	0	▲1	0	▲100.0	14	▲6.7	1,379	57.4
04年12月	0	▲1	0	▲100.0	16	128.6	2,964	1,014.3
05年01月	0	▲1	0	▲100.0	14	75.0	1,553	80.2

\*資料出所 … 苫小牧商工会議所

\*管内 … 胆振東部、日高西部

\*管内の計数は法的整理のみ、任意整理は含まず

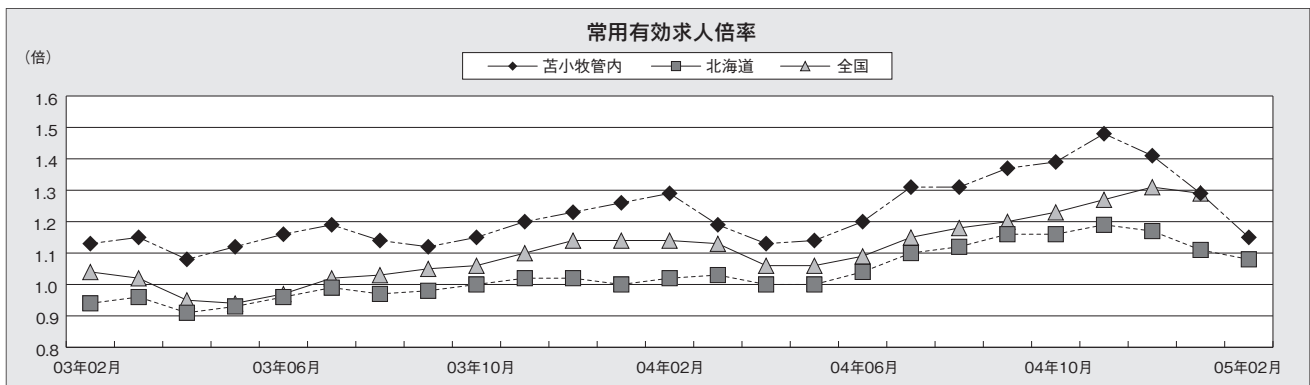


## 7. 雇用状況

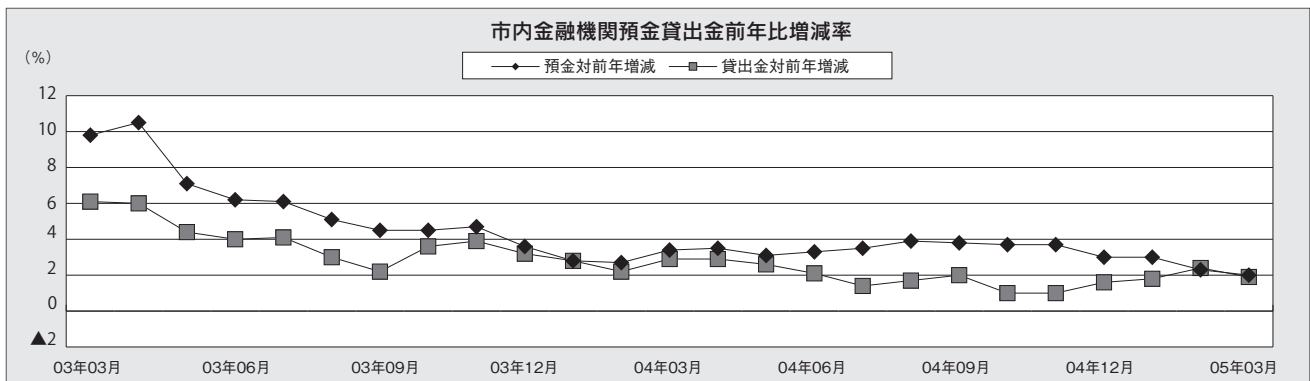
単位：%

	有効求人倍率			完全失業率	
	苫小牧管内	北海道	全国	北海道	全国
04年02月	1.29	1.02	1.14	3.1	2.6
04年03月	1.19	1.03	1.13		2.6
04年04月	1.13	1.00	1.06		2.7
04年05月	1.14	1.00	1.06	3.7	2.8
04年06月	1.20	1.04	1.09		2.7
04年07月	1.31	1.10	1.15	3.1	2.5
04年08月	1.31	1.12	1.18		2.6
04年09月	1.37	1.16	1.20		2.7
04年10月	1.39	1.16	1.23		2.6
04年11月	1.48	1.19	1.27	2.7	2.4
04年12月	1.41	1.17	1.31		2.3
05年01月	1.29	1.11	1.29		2.4
05年02月	1.15	1.08			

\*資料出所 … 苫小牧公共職業安定所「業務概要」より



## 8. 金融の状況



### 苫小牧市内預金・貸出金残高

単位：百万円・%

単位：百万円・%

	預金残高	前年比
04年03月	829,037	3.4
04年04月	857,654	3.5
04年05月	856,726	3.1
04年06月	862,502	3.3
04年07月	862,446	3.5
04年08月	869,861	3.9
04年09月	862,107	3.8
04年10月	872,583	3.7
04年11月	870,411	3.7
04年12月	875,329	3.0
05年01月	863,936	3.0
05年02月	861,619	2.3
05年03月	845,310	2.0

	貸出金残高	前年比
04年03月	464,871	2.9
04年04月	467,303	2.9
04年05月	464,094	2.6
04年06月	466,359	2.1
04年07月	468,910	1.4
04年08月	466,943	1.7
04年09月	466,138	2.0
04年10月	468,120	1.0
04年11月	469,339	1.0
04年12月	475,458	1.6
05年01月	471,930	1.8
05年02月	471,785	2.4
05年03月	473,927	1.9

\*資料出所 … 苫小牧金融協会

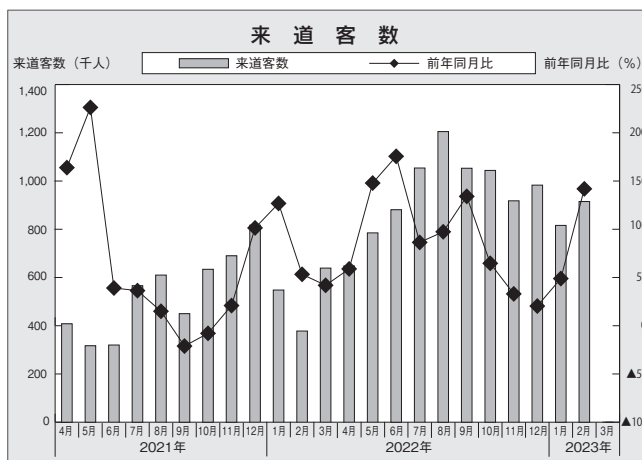
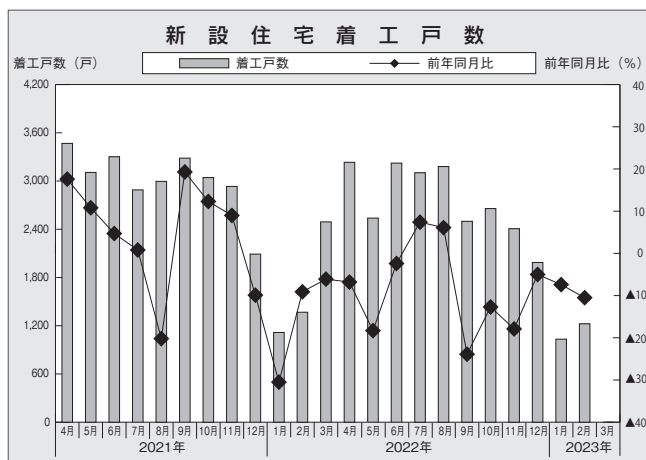
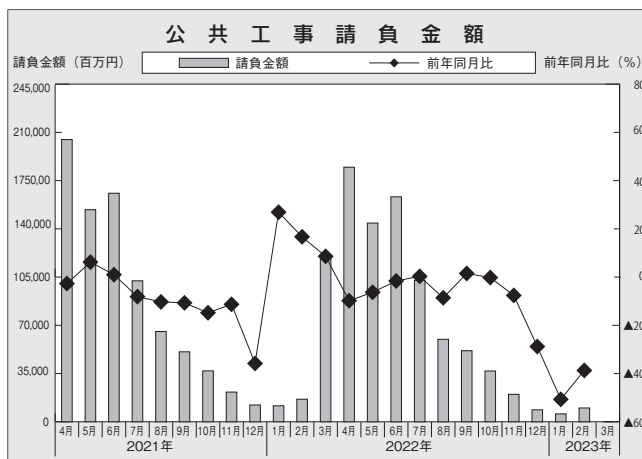
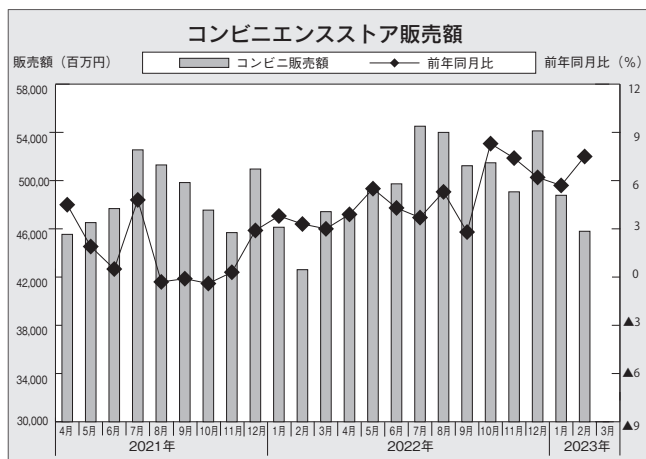
## 9. 管内の人口・世帯数（令和5年3月末）

単位：人

市 町	人 口		世 帯 数	
	人 口	前 年 差	世 帯	前 年 差
管内合計	340,669	▲ 2,654	184,237	897
市部計	264,468	▲ 1,577	142,136	777
苫小牧市	167,503	▲ 1,490	90,846	203
千歳市	96,965	▲ 87	51,290	574
郡部計	76,201	▲ 1,077	42,101	120
白老町	15,565	▲ 311	9,261	▲ 22
厚真町	4,355	▲ 29	2,125	4
安平町	7,310	▲ 41	3,975	20
むかわ町	7,409	▲ 123	4,020	31
日高町	11,129	▲ 156	6,204	35
平取町	4,553	▲ 48	2,399	14
新冠町	5,189	11	2,807	69
新ひだか町	20,691	▲ 380	11,310	▲ 31

# 北海道の主要経済指標

出典：経済産業省 北海道経済産業局 管内経済概況 主要経済指標



北海道の主要経済指標	コンビニ販売額		公共工事請負額		新設住宅着工戸数		来道客数		
	販売額 (百万円)	前年同月比	請負額 (百万円)	前年同月比	着工戸数 (戸)	前年同月比	来道客数 (千人)	前年同月比	
2021年	4月	45,542	4.5	204,783	▲ 2.7	3,468	17.6	408	163.9
	5月	46,516	1.9	153,850	6.2	3,107	10.8	317	226.3
	6月	47,679	0.5	165,834	1.0	3,302	4.7	320	39.1
	7月	52,550	4.8	102,306	▲ 8.1	2,890	0.8	566	36.4
	8月	51,299	▲ 0.3	65,500	▲ 10.3	2,996	▲ 20.2	610	15.0
	9月	49,837	▲ 0.1	50,782	▲ 10.7	3,285	19.3	450	▲ 21.1
	10月	47,553	▲ 0.4	36,933	▲ 14.8	3,043	12.3	634	▲ 7.9
	11月	45,687	0.3	21,550	▲ 11.3	2,933	9.0	690	20.9
2022年	12月	50,960	2.9	12,185	▲ 35.8	2,091	▲ 9.9	817	101.4
	1月	46,133	3.8	11,609	26.9	1,116	▲ 30.5	548	126.8
	2月	42,612	3.3	16,366	16.7	1,368	▲ 9.1	378	53.3
	3月	47,424	3.0	121,013	8.6	2,492	▲ 6.1	639	41.9
	4月	47,300	3.9	184,734	▲ 9.8	3,233	▲ 6.8	648	58.9
	5月	49,093	5.5	144,186	▲ 6.3	2,539	▲ 18.3	785	147.9
	6月	49,732	4.3	163,257	▲ 1.6	3,223	▲ 2.4	881	175.6
	7月	54,511	3.7	102,650	0.3	3,103	7.4	1,054	86.4
	8月	53,998	5.3	59,855	▲ 8.6	3,180	6.1	1,205	97.4
	9月	51,231	2.8	51,534	1.5	2,499	▲ 23.9	1,053	134.1
	10月	51,478	8.3	36,857	▲ 0.2	2,657	▲ 12.7	1,044	64.7
	11月	49,069	7.4	19,921	▲ 7.6	2,407	▲ 17.9	918	33.0
2023年	12月	54,122	6.2	8,682	▲ 28.8	1,987	▲ 5.0	983	20.4
	1月	48,782	5.7	5,726	▲ 50.7	1,033	▲ 7.4	816	48.9
	2月	45,798	7.5	10,031	▲ 38.7	1,224	▲ 10.5	915	141.9
	3月								

今号の特集は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所発行の金利・為替見通し（月刊）No.2023-1（2023年4月5日発行）より、国内経済・金融情勢について抜粋転載してご紹介いたします。

### 1. 国内景気は製造業が弱含む一方、非製造業は底堅い。海外経済の減速などが懸念

#### ◆10～12月の実質GDP（2次速報）は前期比横ばいに下方修正。2月の景気動向指数の基調判断は3か月連続で「足踏み」の見込み

10～12月の実質GDPの2次速報は、前期比0.0%増（年率0.1%増）で1次速報の同0.2%増（同0.6%増）から下方修正された。個人消費が同0.3%増で1次速報の0.5%増から引き下げられた影響が大きい。外食・宿泊などのサービス消費を中心に1次速報ほど伸びなかった。一方、輸出は同1.5%増で1.4%増から上方修正され、純輸出の寄与度は0.3ポイントから0.4ポイントに高まった。10～12月は「全国旅行支援」や水際対策の緩和などで、在庫変動を含まない最終需要は前期比0.5%増と底堅かったものの、生産の弱含みや原材料等を確保する動きの一巡などで在庫変動が押下げに寄与した。

2月の景気動向指数（一致C I）は、有効求人倍率等が悪化した一方、輸出・生産や商業販売額等が改善したため、前月より上昇すると予想する。ただ、1月の大幅な悪化の反動による影響が強く、基調判断は3か月連続で「足踏み」になる公算が高い。先行C Iも、生産財在庫率などが改善したため、上昇が見込まれるが、海外経済の減速などによる先行き不透明感は根強い。

#### ◆製造業の業況が弱含んでいる一方、非製造業は底堅い

2月の実質輸出は前月比1.5%増で4か月ぶりにプラスとなった。ただ、23年は1月に中国の春節（旧正月）がズレたことで輸出が落ち込んだため、1～2月で均してみると、22年10～12月の水準を5.0%下回っている。2月の輸出は増加に転じたが、力強さを欠いている。また、鉱工業生産も自動車や生産用機械などが増加し、前月比4.5%増と2か月ぶりにプラスとなった。3月は、経済産業省による製造工業生産予測指数の補正值で同0.3%減と試算されている。先行きは、供給制約の緩和に伴って、受注残の解消に向けた自動車などの挽回生産が下支えするため、持ち直すと見込まれる。ただ、IT関連の生産調整や海外経済の減速懸念などが重荷になる恐れには引き続き留意を要する。

企業の景況感を日銀「短観」（3月調査）の業況判断D Iで見ると、全規模・全産業はプラス5で前回調査より1ポイント低下した。大企業・製造業はプラス1で前回より6ポイント低下し、5四半期連続の悪化となった。部品不足の緩和で自動車等は上昇したが、原材料高や海外経済の減速などが響いた。一方、大企業・非製造業はプラス20で前回より1ポイント上昇し、4四半期連続で改善した。特に、小売が10ポイント上昇しており、インバウンド売上高が回復するなど、経済活動の正常化が改善に寄与している。

#### ◆23年度の設備投資計画は堅調

日銀「短観」（3月調査）による23年度の設備投資計画（全規模・全産業）は、前年度比3.9%増となった。3月の初回調査は例年計画を控えめに見積もる傾向があるが、22年度計画の初回調査の伸び率（同0.8%増）を上回った。22年度の実績見込みは同11.4%増であるが、コスト高などで前回より3.2%下方修正され、投資の先送りも影響して23年度計画は堅調である。

設備投資の先行指標である機械受注（船舶・電力を除く民需）をみると、1月は前月比9.5%増で2か月連続のプラスとなった。製造業が同2.6%減少した一方、非製造業（除く船舶・電力）は同19.5%増加した。特に、建設機械、大型電子計算機、鉄道車両などの受注が押し上げた。経済活動の再開やデジタル化投資などが下支えしている。企業の投資意欲は強く、設備投資は堅調な推移が見込まれる。ただ、機械受注は基調として「足踏み」しており、コスト高や海外経済の減速などの影響で投資計画が先送りされる恐れには留意を要する。

#### ◆個人消費は底堅く、先行き、経済活動の正常化などが下支え

1月の1世帯当たりの実質消費支出（二人以上の世帯）は前月比2.7%増で3か月ぶりにプラスとなった。前年比は0.3%減で3か月連続のマイナスだが、前月の1.3%減からマイナス幅は縮小している。通信や魚介類・穀類などが押し下げたが、「全国旅行支援」の再開などを背景に、鉄道・航空運賃・国内パック旅行費・宿泊料・飲酒代などが下支えた。また、日銀の実質消費活動指数（旅行収支調整済）は前月比1.2%増で3か月ぶりにプラスとなった。新車販売などの改善で耐久財が押し上げ、経済活動の正常化でサービスも底堅かった。なお、水際対策

の緩和でインバウンド消費を含みアウトバウンド消費を除く旅行収支調整前ベースは同1.3%増と調整済の伸び率を若干上回った。

2月は、小売業販売額が前月比1.4%上昇した。自動車や衣服等が押上げに寄与している。先行き、経済活動の正常化や積み上がった貯蓄などが下支えして個人消費は堅調に推移しよう。また、2月の訪日外客数は147.5万人でコロナ前（19年同月）の56.6%の水準に回復し、全国百貨店インバウンド売上高も54.3%まで持ち直すなど、インバウンド需要の改善も期待できる。

#### ◆海外経済の減速などの影響に留意を要する

国内景気は、経済活動の正常化やペントアップ（繰越）需要などが個人消費を下支えして、底堅く推移するものと見込まれる。ただ、物価上昇による購買力の押下げ圧力が個人消費を引き続き抑制することが懸念される。

生産は基調として弱含んでいるが、供給制約の緩和に伴う挽回生産などが下支えして緩やかに持ち直そう。しかし、IT関連の生産調整や海外経済の減速懸念などの影響が国内景気の重荷となる恐れには引き続き留意を要する。

## 2. 日銀植田新体制は現行の大規模金融緩和を継続も、金融政策は柔軟化へ

### ◆日銀の植田新体制は大規模金融緩和を継続へ

3月9～10日に開催された黒田体制最後の日銀金融政策決定会合では、現行の大規模金融緩和策を維持することを決めた。長短金利操作（YCC）の運用における長期金利の変動幅も±0.5%程度に据え置いた。また、国会で次期日銀総裁に経済学者の植田和男元審議委員を起用することが承認された。4月27～28日の植田新体制としての初会合では、黒田体制を引き継ぎ、現行の大規模金融緩和策が維持されると見込まれる。ただ、植田新総裁はYCCの副作用を認めており、債券市場の機能低下やイールドカーブの歪みといった大規模緩和の弊害に対処するため金融政策の柔軟化や正常化に向けた環境整備を進めるものとみられる。米欧の金融システム不安や長期金利の低下を背景に、早期の政策修正観測は一頃に比べて後退したが、市場では年内にも政策修正に踏み切るとの向きは根強い。

### ◆2月の消費者物価（生鮮食品を除く総合）の前年比上昇率は13か月ぶりに鈍化

2月の国内企業物価の前年比上昇率は8.2%で前月の9.5%から減速した。前月比は0.4%低下して2年3か月ぶりにマイナスとなり、政府による電気・都市ガス代の負担軽減策が押し下げた。また、輸入物価は円安で同0.5%上昇したが、契約通貨ベースでは同0.9%低下し、5か月連続のマイナスとなった。液化天然ガス等の石油・石炭・天然ガスや鉄鉱石等の金属・同製品などが低下しており、原材料高に伴う価格転嫁の動きは一時期に比べて緩和に向かっている。

2月の消費者物価の前年比上昇率は、生鮮食品を除く総合で3.1%と11か月連続で2.0%を上回ったが、1月の4.2%から縮小した。伸び率の鈍化は13か月ぶりである。政府による電気・都市ガス代の負担軽減策が押し下げ、エネルギーは21年3月以来、約2年ぶりにマイナスに転じた。しかし、生活必需品である食品（除く酒類）やエネルギーを除く総合も2.0%を超えるなど、幅広い品目で価格が上昇しており、引き続き物価動向には留意を要する。

### ◆日銀は当面、現行の緩和的な金融環境を維持へ

日銀は、賃金上昇を伴う形での持続的・安定的な物価上昇を目指している。しかし、1月の実質賃金は前年比4.1%減と10か月連続でマイナスとなり、家計の所得は目減りしている。

植田新総裁は、現行の大規模金融緩和を継続し、経済をしっかりと支えることで、企業が賃上げをできるような経済環境を整える必要があるとの見解を示した。名目賃金の上昇率は賃上げ機運の高まりもあって底堅く推移すると見込まれるが、物価高、米欧の金融システム不安や海外経済の減速懸念などの影響による景気下振れリスクは根強い。日銀は国内経済を下支えする必要があると、当面、現行の緩和的な金融環境を維持するものと見込まれる。

以上

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当研究所が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。

なお、記述されている予測または執筆者の見解は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

# お取引先企業のご紹介コーナー

当金庫のお取引先企業様を紹介する「誌上ビジネスマッチング」のコーナーです。  
是非、皆様の**販路拡大**や**ビジネスのご連携**にお役立て下さい。  
お問合せは、当金庫または直接下記掲載企業様へご連絡下さい。

## 介護ショップそら Faクリエイト株式会社

〒053-0821

苫小牧市しらかば町4丁目22番13号

当社は介護用品の販売・レンタルと高齢者向け弁当の配達を行っております。

高齢者の方の介護状況は絶えず変化しますが、レンタルを受けることで、その時々ニーズに応じた用品を利用することが可能となります。福祉用具の活用で自分の好きな時に人の手を借りずにいろいろなことができるよう皆様をお手伝いします。

配食事業ではご高齢者向けの栄養バランスや食べやすさはもちろん、食材の安全や食の楽しさにこだわって調理しております。また、配食の利用者様向けに二次元バーコードを使った安否確認サービスやちょっとした身の回りのお手伝いを行う3分間サービスを提供しております。

どちらの事業も個人と医療介護関係の方の双方から注文を承っておりますので、お気軽にご相談下さい。



### <主要取扱商品>

介護事業部（福祉用品のレンタル・販売）

総合事業部（高齢者向け弁当配食）

【連絡先】 TEL：0144-84-8117 FAX：0144-84-8110

E-mail：machiko@fa-c.net

代表：松尾 眞智子 様

HP：https://www.fa-create.info/

## 平取和牛専門店くろべこ 株式会社びらとりミート

〒055-0104

沙流郡平取町字紫雲古津200-2

びらとり和牛をはじめ、平取町の食材をふんだんに使用したメニューを提供している平取和牛専門レストランです。

炭火で丁寧に焼き上げた極上肉のステーキやハンバーグ、平取特産のトマトを使ったパスタに自家製パンなど、豊富なメニューをご用意しているほか、平取産の黒豚を使ったメニューも多数取り揃えております。

平取町の大地が育んだ北のごちそう。ご家族で、カップルで、ぜひ一度お立ち寄りください。



### <主要取扱商品>

■レストラン：炭火焼ステーキセット、ハンバーグセット、バラエティーセット

■販売：平取和牛ステーキ・すき焼き・しゃぶしゃぶ・焼肉、ハンバーグ（びらとり和牛・びらとり黒豚）

【連絡先】 TEL：01457-2-4129 FAX：01457-2-4259

E-mail：kurobeko@agate.plala.or.jp

代表：山口 尚之 様

HP：http://www.kurobeko.com/

### ※次世代エネルギー供給拠点化 脱炭素化へ苫小牧港CNP形成計画案

苫小牧港管理組合は1月31日、2050年までに苫小牧港湾地域の温室効果ガス排出量ゼロ（CN）を目指す「苫小牧港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画案」を公表した。二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を出さない燃料アンモニアなど次世代エネルギー供給設備の整備や積極活用といった脱炭素化の事業を盛り込んだ。同計画は今年度内に成案化し、事業の展開を通じて地球温暖化防止に貢献したい考えだ。

同計画は23年度から運用を開始し、国がCN達成目標年次に掲げる50年までを期間とした。CNに向けた30年度までの短中期目標値を示し、港湾地域全体のCO<sub>2</sub>排出量を基準年の13年度比で48%削減（128.8万トンの削減）の方針を立てた。

苫小牧港の目指す将来像として▽北海道・北日本への水素・燃料アンモニアなど次世代エネルギーの供給拠点化▽非常時などを想定した次世代エネルギーの備蓄拠点化▽CO<sub>2</sub>を回収し燃料や化学製品に転換するカーボンリサイクルの拠点形成－を基本とした。－中略－

世界的な脱炭素化の流れを受けて、温室効果ガスの大量排出源となっている国内の港で排出削減の動きが進んでいる。苫小牧港は道内の港湾貨物量の約5割を扱う北日本最大の港であり、周辺にもCO<sub>2</sub>排出源の製造業、製油所、発電所などを抱えているため、脱炭素化の取り組みがより求められている。－後略－（2月1日苫小牧民報社より－以下同じ）

### ※市、スマートシティ構想概要案まとめる～先端技術活用し課題解決 来年度からの事業化目指す～

苫小牧市は、ICT（情報通信技術）などデジタル技術で暮らしや経済活動の利便性を高める「スマートシティ構想」の概要案をまとめた。医療や福祉、産業、公共交通など21分野に先端技術を取り入れ、サービスの質の向上を図る事業の方向性を示した。市は今後、同構想の中身を固め、2023年度から事業化に乗り出したい考えだ。

同構想の期間は23～27年度の5年間。AI（人工知能）などを活用したまちづくりを進め、少子高齢化や公共サービスの質の維持、防災、脱炭素化など課題の解決につなげる施策の指針とする。「健康・医療」「子育て支援」「福祉」「観光・商業」「ものづくり・農林業」「教育」「気候変動対応」「交通環境」－など分野ごとに計90の事業案を示した。－中略－ この他、デジタル技術を活用した災害時避難計画の策定、大規模停電時に地域の再生可能エネルギーで自律的に電力を供給する体制の構築、ロボットや自動運転技術による廃棄物収集運搬システムなどを示した。－後略－

（2月2日）

### ※健康経営優良法人ホワイト500 市、2年連続選定 生き生きと働く環境実現に力

苫小牧市は、経済産業省の制度「健康経営優良法人2023」の大規模法人部門ホワイト500に2年連続で選ばれた。22日の定例記者会見で発表し、岩倉博文市長は「今後も職員が生き生きと働くことができる職場環境の実現を目指したい」と述べた。

同法人認定制度は、従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に健康の保持や増進に取り組む「健康経営」を推進するため、経産省が2016年度に創設。経済・医療団体などをつくる日本健康会議（東京）が評価基準に基づき企業や団体を認定している。

苫小牧市は、組織活性化や質の高い行政サービスの提供に向け、セミナーや働き方改革研修などを通じた職員の健康づくり活動を実践。21年、大規模法人部門で認定され、22年は認定企業・団体のうち、上位500位を対象としたホワイト500に全国の自治体で初めて選ばれた。

昨年に続いてホワイト500に選定された市は、新年度も職員の健康保持や増進に力を入れる方針。新たに出退勤管理システムを導入し、長時間残業の是正も目指す。市行政監理室は「新システムを取り入れ、時間外労働の削減につなげたい」としている。－後略－（3月22日）

## とましん結婚相談所「LLB会」

とましん結婚相談所「LLB会」事務局

苫小牧市表町3丁目1番6号

苫小牧信用金庫本店7階

電話 0144-56-5026

【平日 9:00~17:30】

## お気軽に、お問い合わせください！



## ■活動実績

(令和5年3月31日現在)

入会者数	男性	362名
	女性	369名
	合計	731名

お見合回数 824回

結婚又は婚約中 67組

子供の誕生 18名

## ■会員資格

1. 苫小牧信用金庫の営業地域にお住まいの方
  2. 法的にも実生活上においても独身の方
  3. 結婚したいという明確な意思のある方
  4. 反社会的勢力でないこと
- ※ 会員の有効期間は入会日より3年間です  
(希望により延長も可能です)

## ■入会にあたりご提出いただくもの

1. 申込書類  
(当会所定の入会申込書、プロフィール、誓約書)
2. 戸籍謄本または独身証明書
3. 最終学歴の卒業証書(任意)
4. 収入証明書(源泉徴収票など)
5. 申込書貼付用顔写真1枚(縦横5cm程度)
6. お相手へのご紹介用写真2カット  
(L判サイズ、1枚は全身が写っているもの)
7. 入会預り金 10,000円  
(退会時には全額返却いたします)

## ■LLB会のシステム

1. 申込書に記載された「お相手の希望」に沿った方の「プロフィール及び写真」を見ていただけます。
2. お会いしてみたい方がいた場合、事務局よりお相手の方に連絡し了解がとれれば、お見合いをしていただけます。(お見合い会場は苫小牧信用金庫本店内)
3. お見合い後に、交際希望の有無を確認させていただきます。
4. 双方が交際を希望した場合、3か月の交際期間を設けます。交際期間の中で「結婚を前提に交際を継続」または「交際を辞退」の結論を出していただけます。

とましん景況レポート No.154

令和5年5月発行

発行/苫小牧信用金庫 編集/業務企画部

〒053-8654 苫小牧市表町3丁目1番6号

TEL(0144)31-2145 FAX(0144)31-2341

※本レポートは調査時点における情報提供を目的としています。  
したがって投資等についてはご自身の判断によってください。  
また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。